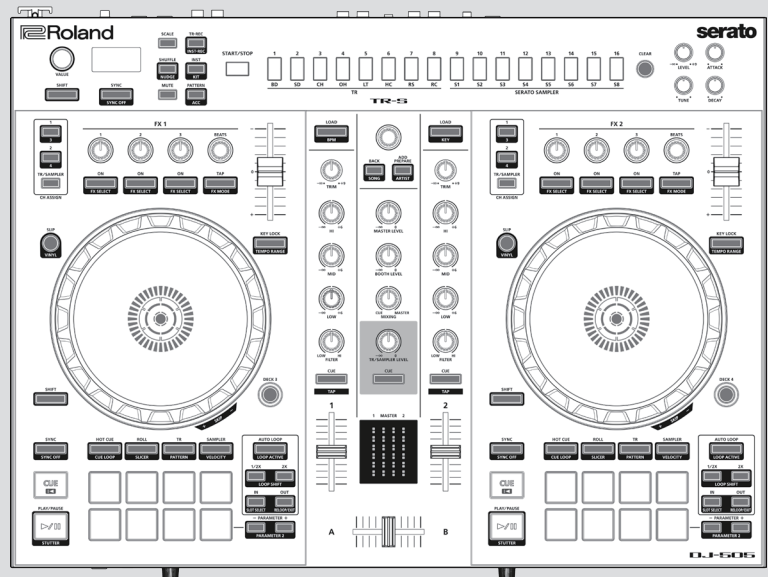


DJ-505

取扱説明書



serato

serato  DJ

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に『安全上のご注意』と『使用上のご注意』（『安全上のご注意』チラシとスタートアップ・ガイド）をよくお読みください。
お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

目次

ソフトウェアのインストール	3
動作条件	3
ソフトウェアのダウンロード	3
DJ-505 USB ドライバーをダウンロードする	3
Serato DJ ソフトウェアをダウンロードする	3
ソフトウェアのインストール	3
Mac OS の場合	3
Windows の場合	3
各部の名称とはたらき	4
ブラウザ・セクション	4
デッキ・セクション	5
ミキサー・セクション	7
エフェクト・セクション	7
TR-S セクション	8
フロント・パネル	8
リア・パネル（機器の接続）	9
Serato DJ の使いかた	11
Serato DJ の起動方法	11
Serato DJ の基本操作	11
曲のインポート	11
曲をロードする	11
曲を再生する	12
ヘッドホンで音をモニターする	12
Serato DJ の終了方法	12
DJ-505 を操作する	13
パフォーマンス・パッドの操作	13
ホット・キューの操作（HOT CUE）	13
キュー・ループの操作（CUE LOOP）	13
ロールの操作（ROLL）	13
スライサーの操作（SLICER）	14
セーブド・ループの操作	14
TR の操作（TR）	14
パターンの操作（PATTERN）	15
TR ペロシティーの操作	15
Serato Sampler の操作（SAMPLER）	15
ピッチ・プレイの操作（PITCH PLAY）	15
ペロシティー・サンプラーの操作	15
スリップの操作	15
曲の解析	15
エフェクトの操作	16
マルチ FX モードの操作	16
シングル FX モードの操作	16
エフェクトのテンポを変える	17
録音する	17
外部機器から音を入力する	17
DJ プレーヤーから音を入力する	17
ターンテーブルから音を入力する	17
マイクから音を入力する	17

TR-S の操作	18
パターンの再生／コピー／消去	18
インスト／キットの変更	19
TR-REC（ステップ・レコーディング）	20
INST-REC（リアルタイム・レコーディング）	20
TR-S のテンポと Serato DJ のテンポを同期させる	21
TR-S のデータをバックアップ／リストアする	21
DJ-505 をスタンドアローン・モードで使う	21

システム設定	22
工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）	23

Serato Flip を使う	24
Serato Flip Expansion Pack を購入する	24
Serato Flip Expansion Pack をアクティベートする	24
Serato DJ 画面の Flip 表示について	25
Flip の操作	26
ホット・キューを設定する	26
Flip を作成する	26
Flip を保存する	26
Flip を呼び出して再生する	26
セーブド・フリップの操作	26

Serato DVS を使う	27
Serato DVS Expansion Pack を購入する	27
Serato DVS Expansion Pack をアクティベートする	27
バーチャル・デッキ画面について	29
DVS を使うための設定	29
ターンテーブル／DJ プレーヤーの接続	29
Serato DJ の設定	29
コントロール信号の調整	29
DVS で曲を再生する	30
DVS 使用時に使える機能	30

資料	31
トラブルシューティング	31
ブロック・ダイアグラム	31
主な仕様	32

取扱説明書について

本書では、DJ-505 の基本的な使いかたについて説明しています。
スタートアップ・ガイドとあわせてお読みください。

Serato DJ の取扱説明書をダウンロードする

1. ブラウザーを起動し、下記の Serato DJ ページにアクセスします。
<https://serato.com/dj/downloads>
2. 「Manuals and Downloads」をクリックします。
3. 「Manuals and Downloads」の中から、Serato DJ の取扱説明書をダウンロードします。

ソフトウェアのインストール

動作条件

お使いのパソコンが動作条件を満たしているかどうか確認してから、ソフトウェアのインストールを進めてください。

	Mac OS	Windows
対応 OS	macOS 10.12 OS X 10.11 OS X 10.10	Windows 10 Windows 8.1 Windows 7 SP1
CPU / クロック	インテル® Core™ i7 1.07GHz インテル® Core™ i5 1.07GHz インテル® Core™ i3 1.07GHz	
画面解像度	1280 × 720	
メモリー	4GB 以上	
ハードディスクの空き容量	5 GB以上	
その他	利用可能なUSB 2.0 ポート× 1	

※ 最新の動作条件については、Serato DJ ページをご覧ください。

ソフトウェアのダウンロード

DJ-505 USB ドライバーと Serato DJ は、パッケージに付属していません。ローランドまたは Serato のホームページからダウンロードします。

DJ-505 USB ドライバーをダウンロードする

DJ-505 USB ドライバーは、パソコンから DJ-505 に音声を出力するためのソフトウェアです。

Mac OS の場合

1. ブラウザーを起動し、下記のローランド・サポート・ページにアクセスします。

<https://www.roland.com/jp/support/>

2. 「DJ-505」を検索します。
3. ダウンロードから「DJ-505 Driver for macOS / OS X」を探し、クリックします。
4. 画面の指示に従って、ダウンロードします。

Windows 10 の場合

1. インターネット接続されたパソコンと DJ-505 の USB 端子を接続します。
2. DJ-505 の電源をオンにします。
3. 画面の指示に従って、ダウンロードします。

Windows 10 以外の場合

1. ブラウザーを起動し、下記のローランド・サポート・ページにアクセスします。

<https://www.roland.com/jp/support/>

2. 「DJ-505」を検索します。
3. ダウンロードから「DJ-505 Driver for Windows **」を探し、クリックします。
4. 画面の指示に従って、ダウンロードします。

Serato DJ ソフトウェアをダウンロードする

1. ブラウザーを起動し、下記の Serato DJ ページにアクセスします。
<https://serato.com/dj/downloads>
2. 「DOWNLOAD SERATO DJ」をクリックします。
3. メール・アドレスを入力して、「CONTINUE」をクリックします。
4. パスワードと国を設定したら、「CONTINUE」をクリックします。
指定したアドレスに、メールが届きます。
5. メールの指示に従って、「Download Serato DJ」をクリックします。
6. 画面の指示に従って操作を進め、Serato DJ をダウンロードします。

ソフトウェアのインストール

以下の手順で、ソフトウェアをインストールします。

Mac OS の場合

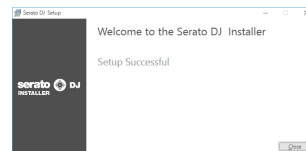
1. ダウンロードした DJ-505 USB ドライバーのファイルを解凍します。
2. 解凍されたフォルダーを開き、「DJ505_USBDriver.pkg」をダブルクリックします。
インストーラーが起動します。
3. 画面の指示に従い、インストールします。
4. ダウンロードした Serato DJ ソフトウェアのファイルを解凍します。
5. 解凍されたファイルをダブルクリックします。
インストーラーが起動します。
6. 使用許諾契約を確認し、同意する場合は [Agree] をクリックします。
7. 以下の画面が表示されたら、[Serato DJ] アイコンを Applications フォルダーにドラッグ&ドロップします。



以上でインストールは完了です。

Windows の場合

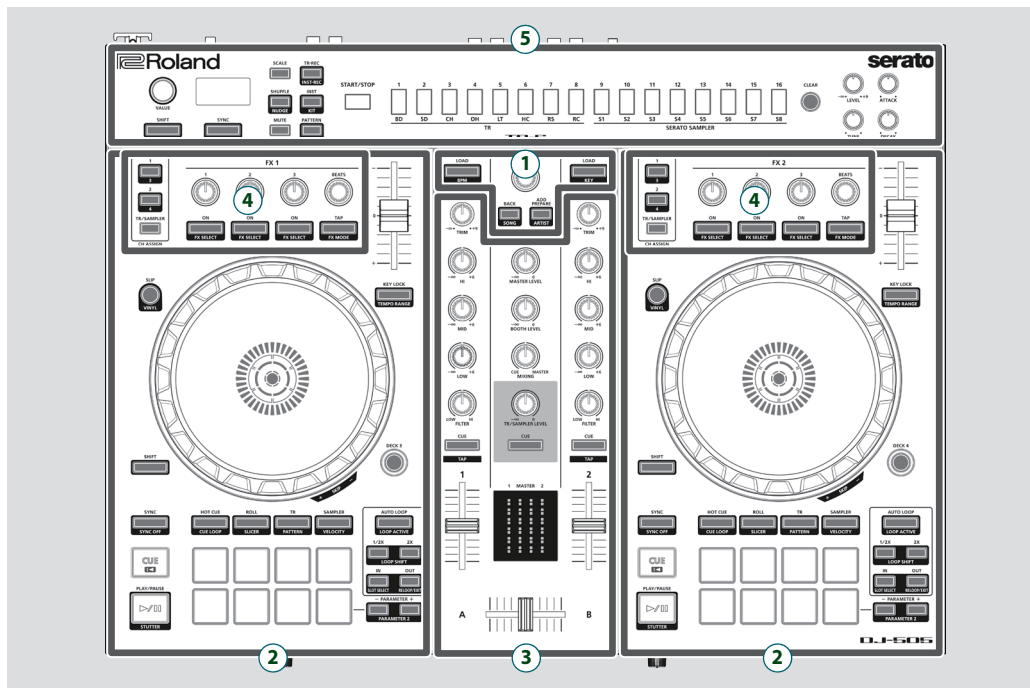
1. ダウンロードした DJ-505 USB ドライバーのフォルダーを右クリックし、「すべて展開」を選びます。
フォルダーが解凍されます。
2. 解凍されたフォルダーを開き、「Setup.exe」をダブルクリックします。
インストーラーが起動します。
3. 画面の指示に従い、インストールします。
4. ダウンロードした Serato DJ ソフトウェアのフォルダーを右クリックし、「すべて展開」を選びます。
フォルダーが解凍されます。
5. 解凍されたファイルをダブルクリックします。
インストーラーが起動します。
6. 使用許諾契約を確認し、同意する場合は [I agree to the license terms and conditions] を選んで [Install] をクリックします。
インストールが始まります。
7. 以下の画面が表示されたら、[Close] をクリックします。



以上でインストールは完了です。

各部の名称とはたらき

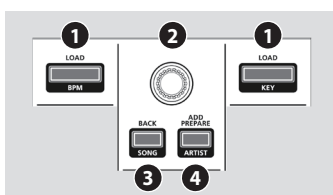
DJ-505 のトップ・パネルは、機能ごとに「ブラウザー」、「デッキ」、「ミキサー」、「エフェクト」、「TR-S」の 5 セクションに分かれています。また、フロント・サイドには、ヘッドホン端子や入力ソース選択スイッチ、リア・サイドには入出力の端子が配置されています。



- ① ブラウザー・セクション
- ② デッキ・セクション
- ③ ミキサー・セクション
- ④ エフェクト・セクション
- ⑤ TR-S セクション

ブラウザー・セクション

Serato DJ の操作と曲のロードをします。



① [LOAD] ボタン

Serato DJ で選んだ曲を、デッキにロードします。

[SHIFT] +		ライブラリーの曲を、「BPM」でソートします。
[SHIFT] +		ライブラリーの曲を、「キー」でソートします。

② ロータリー・セレクター

このつまみを回すとカーソルが上下に動き、押すとカーソルが下の階層に移動します。

③ [BACK] ボタン

カーソルが上の階層に移動します。

[SHIFT] + [BACK]	ライブラリーの曲を、曲名 (アルファベット) 順でソートします。
------------------	----------------------------------

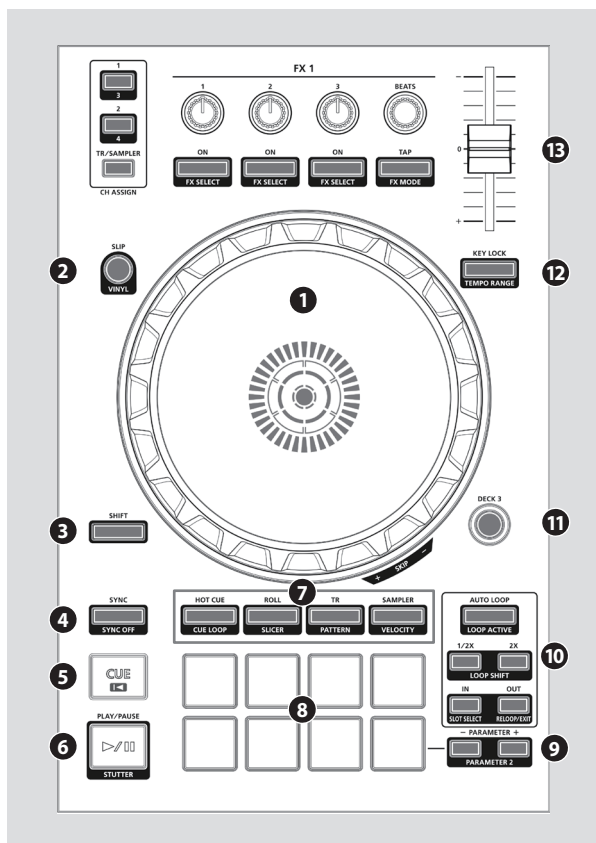
④ [ADD PREPARE] ボタン

「PREPARE」パネルに曲を追加します。

[SHIFT] + [ADD PREPARE]	ライブラリーの曲を、アーティスト名でソートします。
-------------------------	---------------------------

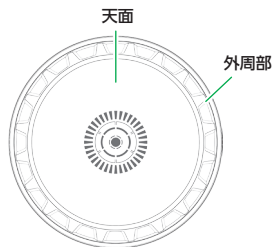
デッキ・セクション

左右のデッキ・セクションで、4つのデッキ（左側：デッキ1、3、右側：デッキ2、4）をコントロールします。



① ジョグ・ダイヤル

スクラッチとピッチ・ベンド（再生スピードの調整）をします。



天面を回す	VINYL MODE がオンのとき： スクラッチ操作ができます。 VINYL MODE がオフのとき： ピッチ・ベンド（再生スピード）操作ができます。
外周部を回す	キー・ロック機能がオンのとき： 右に回すと再生スピードが上がり、左に回すと再生スピードが下がります。 キー・ロック機能がオフのとき： 右に回すと再生スピードとピッチが上がり、左に回すと再生スピードとピッチが下がります。
[SHIFT] + 天面を回す	再生位置を高速で移動（高速サーチ）ができます。 左に回すと再生位置が前に、右に回すと後ろに移動します。 ※ グリッドが設定されている場合は、サーチできません。

② [SLIP] ボタン

スリッパ・モード（P.15）をオン/オフします。オンのときは、ボタンが点灯します。

[SHIFT] + [SLIP]	VINYL モードをオン/オフします。 オンのときは、[SHIFT] ボタンを押している間ボタンが点灯します。
------------------	--

③ [SHIFT] ボタン

このボタンを押しながら他のボタンを押すことで、別の機能を呼び出します。

④ [SYNC] ボタン

複数の曲のテンポ（ピッチ）やビート・グリッドを、自動的に合わせます。
このボタンを押すと、ボタンが押されたデッキ以外の曲のテンポに合わせて、テンポ（BPM）が変わります。

[SHIFT] + [SYNC]	SYNC を解除します。
------------------	--------------

⑤ [CUE] ボタン

テンポラリー・キュー・ポイントの指定、再生、ポイントの呼び出しをします。
再生曲を切り替えてから初めて [CUE] ボタンを押すと、キュー・ポイントが設定されます。
設定後に [CUE] ボタンを押すと、押した位置にキュー・ポイントが移動します。
再生中の場合は、テンポラリー・キュー・ポイントに移動して再生を停止します。

[SHIFT] + [CUE]	曲の途中で押した場合は、曲の先頭に戻ります。 曲の先頭で押した場合は、ソング・リストの1つ前の曲をロードします。
-----------------	---

⑥ [▶/||] ボタン

曲を再生／一時停止します。

[SHIFT] + [▶/]	テンポラリー・キュー・ポイントに戻って、再生します。
------------------	----------------------------

⑦ パッド・モード・セレクト

パフォーマンス・パッドでコントロールするモードを選びます。

[HOT CUE] ボタン

ボタン点灯：白

ホット・キュー・モード（P.13）に切り替えます。

[SHIFT] + [HOT CUE]	ボタン点灯：青 キュー・ループ・モード（P.13）にします。
[HOT CUE] を2回押す	ボタン点灯：オレンジ セーブド・フリップ・モード（P.26）にします。 ※ 別途 Serato Flip の購入が必要です。

[ROLL] ボタン

ボタン点灯：水色

ロール・モード（P.13）に切り替えます。

[SHIFT] + [ROLL]	ボタン点灯：赤 スライサー・モード（P.14）にします。
[ROLL] を2回押す	ボタン点灯：緑 セーブド・ループ・モード（P.14）にします。
[SHIFT] + [ROLL] を2回押す	ボタン点灯：青 スライサー・ループ・モード（P.14）にします。

[TR] ボタン

ボタン点灯：赤

TR モード（P.14）に切り替えます。

[SHIFT] + [TR]	ボタン点灯：緑 パターン・モード（P.15）にします。 TR-S のパターンを切り替えます。
[TR] を2回押す	ボタン点灯：オレンジ TR ベロシティー・モード（P.15）にします。

[SAMPLER] ボタン

ボタン点灯：赤紫

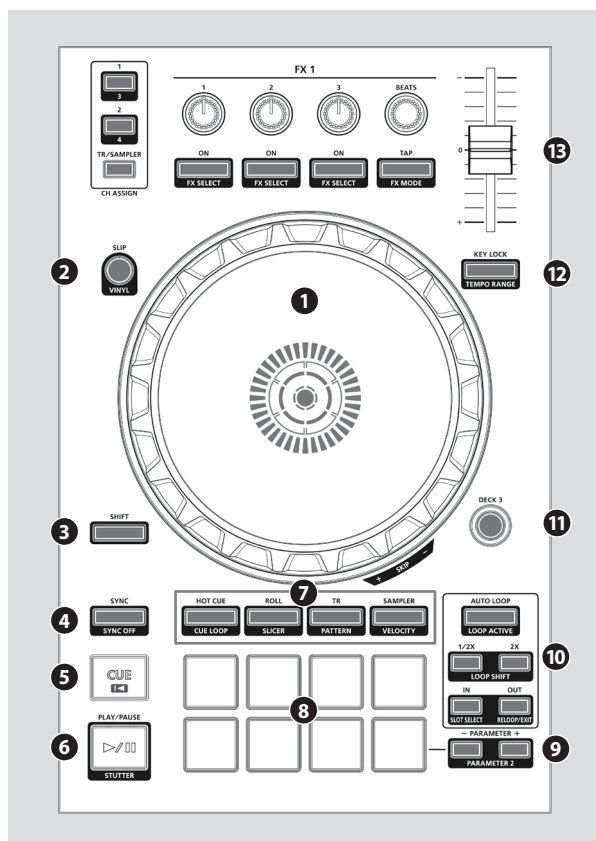
サンプラー・モード（P.15）に切り替えます。

[SHIFT] + [SAMPLER]	ボタン点灯：紫 ベロシティー・サンプラー・モード（P.15）にします。
[SAMPLER] を2回押す	ボタン点灯：緑 ピッチ・プレイ・モード（P.15）にします。

⑧ パフォーマンス・パッド

選んだパッド・モードで、パフォーマンスができます。

デッキ・セクション



⑨ PARAMETER エリア

パフォーマンス・パッドで操作するパラメーターの値を設定します。

⑩ LOOP エリア

[AUTO LOOP] ボタン

オート・ループをオン／オフします。

[IN] / [OUT] ボタンでループ・ポイントを設定すると、ボタンが自動的に点灯します。

[SHIFT] + [AUTO LOOP]	ループのアクティブ状態／非アクティブ状態を切り替えます。 (ループ・アクティブ)
-----------------------	---

[1/2X]、[2X] ボタン

ループ再生の長さを半分／2 倍にします。

[SHIFT] + [1/2X]	ループ再生中、ループがその長さ分だけ左方向へ移動 (ループ・シフト) します。
[SHIFT] + [2X]	ループ再生中、ループがその長さ分だけ右方向へ移動 (ループ・シフト) します。

[IN]、[OUT] ボタン

ループ・イン・ポイント、ループ・アウト・ポイントを指定します。ループ・アウト・ポイントが指定されると、ループ再生を始めます。

[SHIFT] + [IN]	ループ・スロットが切り替わります。
[SHIFT] + [OUT]	ループ再生を解除し、前回設定したループ・イン・ポイント に戻ってループ再生を再開します。

⑪ [DECK 3]、[DECK 4] ボタン

操作するデッキ（左側：デッキ 1、3、右側：デッキ 2、4）を切り替えます。

⑫ [KEY LOCK] ボタン

キー・ロック機能をオン／オフします。

※ キーロック機能がオンのとき、TEMPO スライダーで再生速度を変更してもピッチは変化しません。

[SHIFT] + [KEY LOCK]	TEMPO スライダーの可変範囲を設定します。 ± 8% → 16% → 50% の順で切り替わります。
----------------------	---

⑬ TEMPO スライダー

曲の再生スピードを調整します。

キー・ロック機能がオンのとき：

再生スピードが変わります。

－側	再生スピードが下がります。
＋側	再生スピードが上がります。

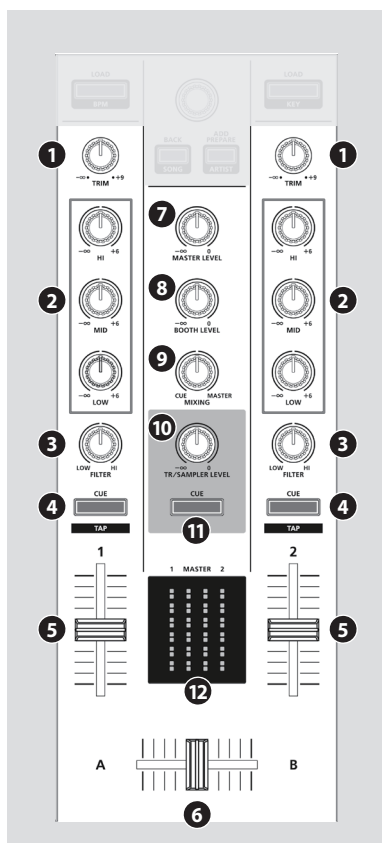
キー・ロック機能がオフのとき：

再生スピードとピッチが変わります。

－側	再生スピードとピッチが下がります。
＋側	再生スピードとピッチが上がります。

ミキサー・セクション

2チャンネル・ミキサーです。音の調整や音のつなぎ、ヘッドホン・キューのオン／オフをします。



① [TRIM] つまみ

音量を調整します。

② [HI]、[MID]、[LOW] つまみ

高域、中域、低域の音量を増減させます。

③ [FILTER] つまみ

各チャンネルにフィルターをかけます。
つまみを右に回すと、高域のみの音になります。
左に回すと、低域のみの音になります。

④ チャンネル [CUE] ボタン

チャンネルごとにキューをオン／オフします。[CUE] ボタンを点灯させたチャンネルの音が、ヘッドホンから出力されます。

[SHIFT] + [CUE]

[CUE] ボタンを繰り返し叩いた間隔で、曲のテンポを設定することができます。(タップ・テンポ機能)

⑤ チャンネル・フェーダー

各チャンネルの出力レベルを調整します。

⑥ クロス・フェーダー

左右のデッキの音声出力を切り替えます。

⑦ [MASTER LEVEL] つまみ

マスター出力のレベルを調整します。

⑧ [BOOTH LEVEL] つまみ

BOOTH OUT 端子の出力レベルを調整します。

⑨ [MIXING] つまみ

ヘッドホン出力に対して、チャンネル [CUE] ボタンを点灯させたチャンネルの音とマスター出力の音量バランスを調整します。

⑩ [TR/SAMPLER LEVEL] つまみ

TR-S / サンプラーの出力レベルを調整します。

⑪ TR/SAMPLER [CUE] ボタン

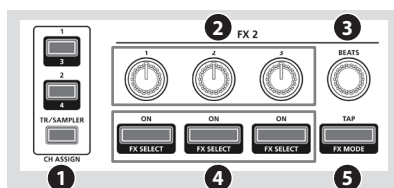
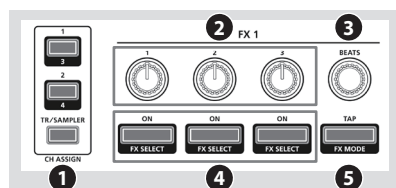
TR-S / サンプラー出力のキューをオン／オフします。

⑫ レベル・インジケーター

各チャンネルとマスターの出力レベルを表示します。

エフェクト・セクション

それぞれが独立した2つのエフェクト・セクション (FX1、FX2) で、エフェクトの効果を調整します。



① CH ASSIGN エリア

[1] ボタン

デッキ 1 に対して、FX 1 (FX 2) をオン／オフします。

[SHIFT] + [1]

デッキ 3 に対して、FX 1 (FX 2) をオン／オフします。

[2] ボタン

デッキ 2 に対して、FX 1 (FX 2) をオン／オフします。

[SHIFT] + [2]

デッキ 4 に対して、FX 1 (FX 2) をオン／オフします。

[TR/SAMPLER] ボタン

TR-S / サンプラーに対して、FX 1 (FX 2) をオン／オフします。

※ Serato DJ の Sampler パネルで、OUTPUT を [A] に設定してください。

② エフェクト・パラメーターつまみ

設定されているエフェクトの効き具合を調整します。

[SHIFT] +

エフェクト・パラメーターつまみ

エフェクト・タイプを変更します。

③ [BEATS] つまみ

エフェクトのかかる時間を調整します。
つまみを押すと、設定が「1」になります。

④ エフェクト・ボタン

エフェクトをオン／オフします。

[SHIFT] + エフェクト・ボタン

エフェクト・タイプを変更します。

⑤ [TAP] ボタン

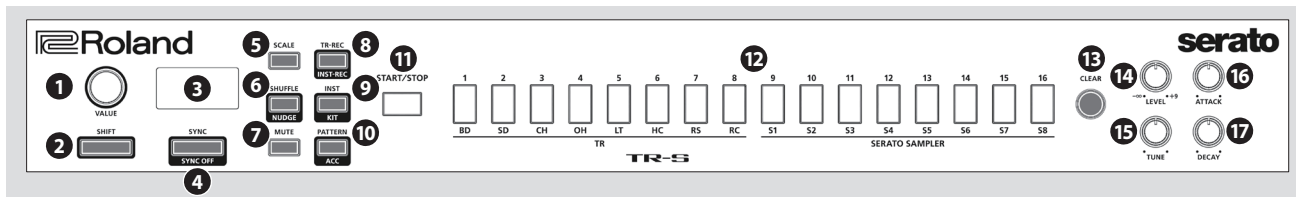
エフェクトの基準となるテンポを、ボタンを叩いた間隔 (タップ・テンポ) で設定します。
ボタンを長押しすると、設定したテンポはリセットされます。

[SHIFT] + [TAP]

エフェクト・モード (シングル FX / マルチ FX) を切り替えます。

TR-S セクション

16 ステップのシーケンサーです。ローランドのリズム・マシン TR-808 などのサウンドや Serato DJ 上のサンプルで、リズム・トラックを作ることができます。



① [VALUE] つまみ

テンポやパターン・スケール、シャッフルなどの設定値を変更します。

② [SHIFT] ボタン

このボタンを押しながら他のボタンを押すことで、別の機能呼び出します。

③ ディスプレイ

操作に応じて、いろいろな情報が表示されます。

④ [SYNC] ボタン

リズムのテンポを、Serato DJ のテンポに同期させます。

[SHIFT] + [SYNC] テンポ同期を解除します。

⑤ [SCALE] ボタン

1 ステップの音の長さを、以下の 4 つから選びます。

8 分 3 連符 (♩)	3 ステップで 1 拍になります。
16 分 3 連符 (♩)	6 ステップで 1 拍になります。
16 分音符 (♪)	4 ステップで 1 拍になります。
32 分音符 (♩)	8 ステップで 1 拍になります。

[SHIFT] + [SCALE] ラスト・ステップの設定をします。

⑥ [SHUFFLE] ボタン

シャッフル（音の跳ね具合）を調整します。

[SHIFT] + [SHUFFLE] ナッジの設定をします。

⑦ [MUTE] ボタン

選んだインストをミュートします。

⑧ [TR-REC] ボタン

パターンをステップ・レコーディングします。

[SHIFT] + [TR-REC] パフォーマンス・パッドを使って、パターンをリアルタイム・レコーディング (INST-REC) します。

⑨ [INST] ボタン

TR-REC 時のインストを選びます。

[SHIFT] + [INST] インストのキット設定や Serato DJ 上のサンプル・バンクの切り替えをします。

⑩ [PATTERN] ボタン

リズム・パターン 1 ~ 16 が選べるようになります。

[SHIFT] + [PATTERN] TR-REC 時、ステップにアクセントを付けます。

⑪ [START/STOP] ボタン

パターンを再生／停止します。

⑫ TR-S パッド [1] ~ [16]

ステップのオン／オフやパターン／インストの選択、Serato DJ 上のサンプルをインストに設定するときに使用します。

⑬ [CLEAR] ボタン

TR-REC で録音した内容をインストごとに消去したり、パターンを削除したりします。

⑭ [LEVEL] つまみ

選んだインストの音量を調整します。

⑮ [TUNE] つまみ

選んだインストのチューニング（ピッチ）を調整します。

⑯ [ATTACK] つまみ

インストのアタックの強さを調整します。

※ 一部のインストや、Serato DJ 上のサンプルが選ばれているときは効果がありません。

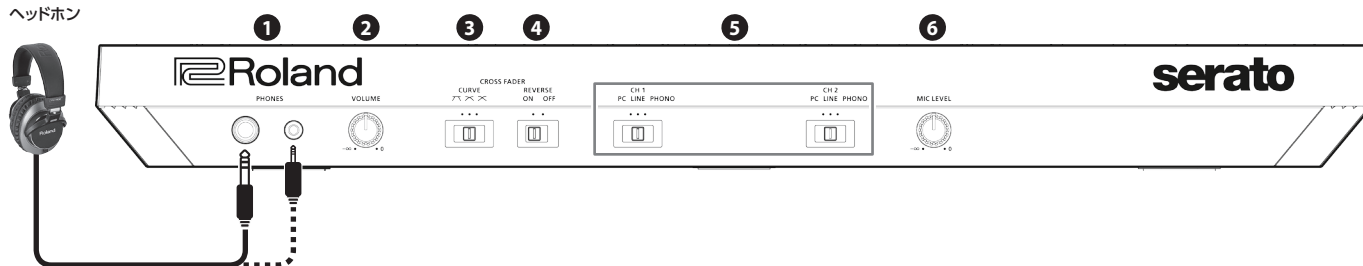
⑰ [DECAY] つまみ

選んだインストの余韻の長さを調整します。

※ Serato DJ 上のサンプルが選ばれているときは、効果がありません。

フロント・パネル

ヘッドホン



① PHONES 端子

ヘッドホンを接続します。
ステレオ標準 (Ø6.3mm) とステレオ・ミニ (Ø3.5mm) に対応しています。

② [VOLUME] つまみ

ヘッドホンの音量を調整します。

③ CROSS FADER [CURVE] スイッチ

クロス・フェーダーのカーブ特性を切り替えます。

④ CROSS FADER [REVERSE] スイッチ

クロス・フェーダーの左右を反転させます。

⑤ [CH 1]、[CH 2] スイッチ

チャンネルの入力ソースを選びます。

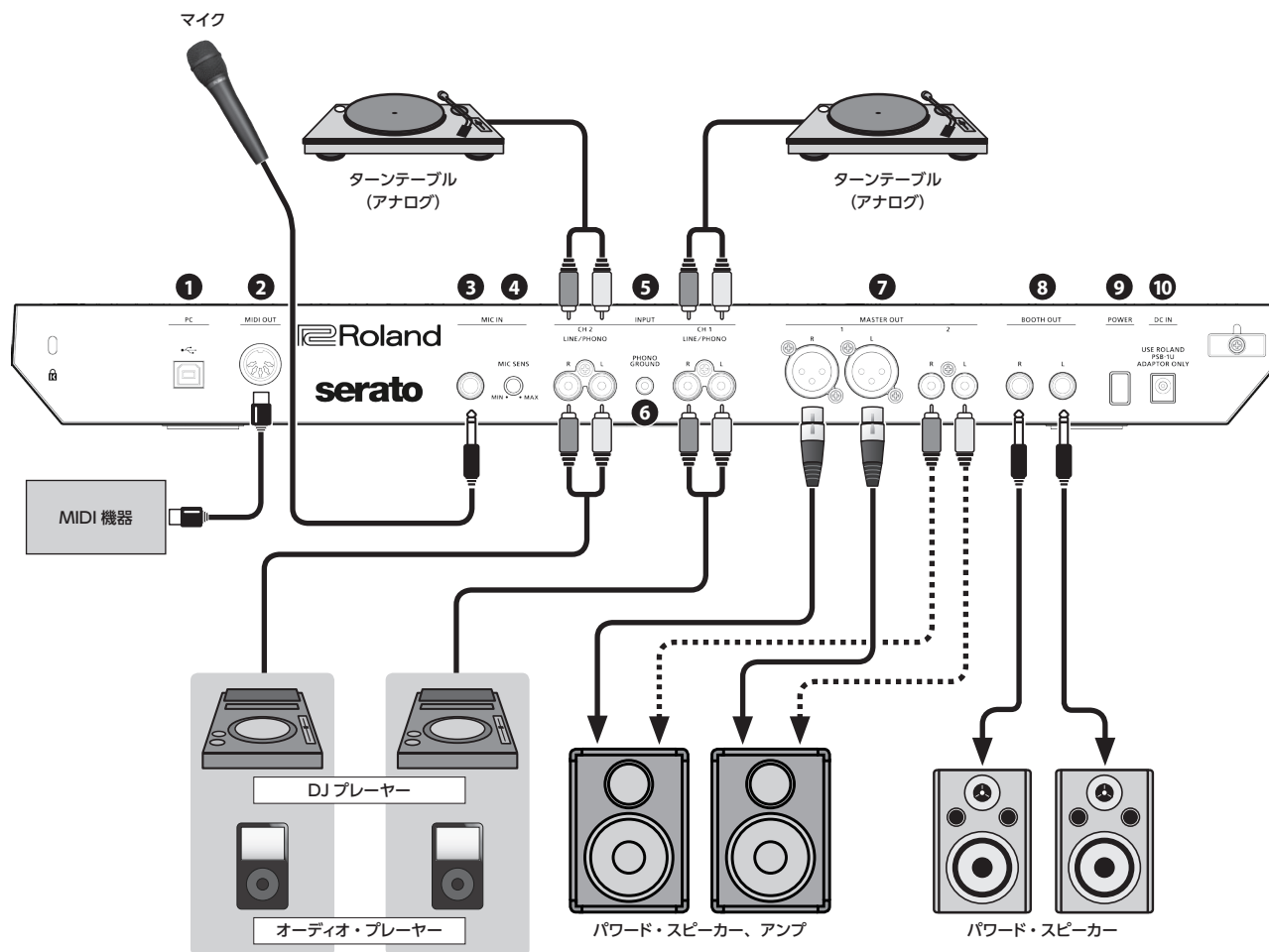
PC	Serato DJ 上のデッキにロードした音をソースにします。 DVS を利用するときはこちらを選びます。
LINE	ライン・レベルの入力をソースにします。
PHONO	フォノ・レベル (MM 型カートリッジ) の入力をソースにします。

⑥ [MIC LEVEL] つまみ

マイクの出力音量を調整します。

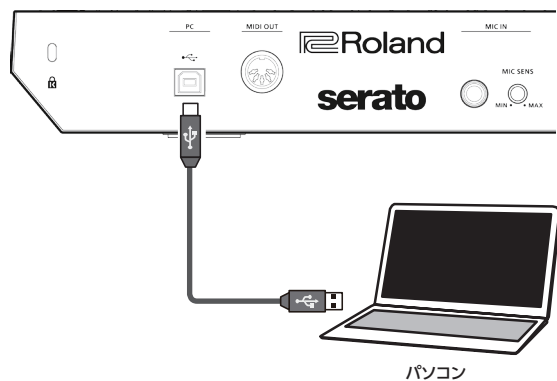
リア・パネル（機器の接続）

他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。



① PC 端子

付属の USB ケーブルで、パソコンと接続します。
パソコンと接続するには、USB ドライバーをインストールする必要があります。
➔ 「ソフトウェアのインストール」(P.3)



② MIDI OUT 端子

MIDI クロックなどの MIDI 情報を出力します。

③ MIC IN 端子

マイクを接続します。

メモ

「システム設定」(P.22) で、マイク入力に専用のエフェクト（リバーブ、ディレイ）が設定できます。

④ [MIC SENS] つまみ

マイク入力の感度を調整します。

⑤ INPUT (CH 1、CH 2) 端子

チャンネル 1、2 に音を入力します。MM 型カートリッジのフォノ入力に対応しています。

⑥ PHONO GROUND 端子

INPUT 端子の CH 1 または CH 2 にターンテーブル(アナログ)を接続した場合に、ターンテーブルのアース線と接続します。ターンテーブルからのノイズを抑えます。

※ 設置条件によっては、本機や本機に接続した機器の金属部に触れると、ビリビリとした感じがする場合があります。これは人体にまったく害のない極めて微量の帯電によるものですが、気になるかたは PHONO GROUND 端子を使って外部のアースか大地に接地してお使いください。このとき、わずかにハム（うなり）が混じる場合があります。なお、接続方法がわからないときはローランドお客様相談センターにご相談ください。

接続してはいけないところ

- 水道管（感電の原因になります）
- ガス管（爆発や引火の原因になります）
- 電話線のアースや避雷針（落雷のとき危険です）

⑦ MASTER OUT 1 (L / R)、2 (L / R) 端子

パワード・スピーカーやパワー・アンプなどに接続します。

※ MASTER OUT 1 端子のピン配置



⑧ BOOTH OUT (L / R) 端子

ブース・モニター用の出力端子です。

※ BOOTH OUT 端子のピン配置



⑨ [POWER] スイッチ

電源をオン／オフします。

※ 本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（Auto Off 機能）。

自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください。解除のしかたについては、P.22 をご覧ください。

ご注意！

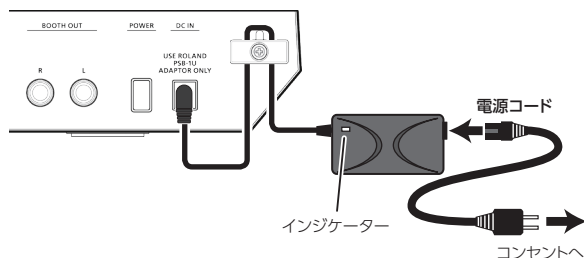
電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください。

⑩ DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。

※ AC アダプターは、インジケーター（図参照）のある面が上になるように設置してください。

AC アダプターをコンセントに接続すると、インジケーターが点灯します。



※ AC アダプターのコードは、図のようにコード・フックに固定してください。誤ってコードを引っ張ってしまっても、プラグが抜けて電源が切れてしまうことや、端子に無理な力がかかることを防ぐことができます。

Serato DJの使いかた

本書では、Serato DJ の基本的な使いかたを説明します。ソフトウェアの詳細機能や使いかたについては、Serato DJ のソフトウェア・マニュアルをご覧ください。

Serato DJ の起動方法

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

1. [POWER] スイッチを押して、DJ-505 の電源をオンにします。

2. DJ-505 に接続した機器の電源をオンにします。

3. Serato DJ を起動します。

Mac OS

Finder で [アプリケーション] フォルダを開き、[Serato DJ] のアイコンをクリックする。

Windows 7

[スタート] メニューから、[すべてのプログラム] → [Serato] → [Serato DJ] → [Serato DJ] のアイコンをクリックする。

Windows 8.1

[アプリビュー] から [Serato DJ] のアイコンをクリックする。

Windows 10

[スタート] 画面または [アプリビュー] から [Serato DJ] のアイコンをクリックする。

Serato DJ の基本操作

ブラウザ・ビューに表示された曲をデッキ部へインポートし、DJ-505 でコントロールします。



- ① デッキ部
- ② ウェーブフォーム・パネル
- ③ crate パネル
- ④ ライブラリー

曲のインポート

曲をインポートする代表的な操作方法について説明します。

- ※ Serato DJ には、さまざまなインポート方法があります。詳細については、Serato DJ のソフトウェア・マニュアルをご覧ください。
- ※ Serato 社の DJ ソフトウェア (Scratch Live、ITCH、Serato DJ Intro) をお使いの方で、曲のライブラリーを作成されている場合は、作成したライブラリーをそのまま使うことができます。
- ※ Serato DJ Intro をお使いの方で、曲のライブラリーを作成されている場合は、曲の再解析が必要になる場合があります。

1. Serato DJ の [Files] キーをクリックします。

[Files] パネルが開き、お使いのパソコンとパソコンに接続されている周辺機器のファイルが表示されます。

2. [Files] パネルで、ライブラリーに加えたい曲が含まれているフォルダーをクリックします。

3. 選んだフォルダーを crate パネルにドラッグ & ドロップします。

crate が作成され、ライブラリーに楽曲が追加されます。

曲をロードする

曲をロードして、出力できるようにします。

1. DJ-505 の [BACK] ボタンを押して、crate パネルにカーソルを移動させます。
2. DJ-505 のロータリー・セレクターを回して、ロードする曲が含まれているフォルダーに移動し、ロータリー・セレクターを押します。
カーソルがライブラリーに移動します。
3. ロータリー・セレクターを回して、ロードする曲に移動します。
4. DJ-505 で、曲をロードしたいデッキの [LOAD] ボタンを押します。

曲を再生する

1. DJ-505 のつまみやスイッチを、以下のように設定します。

[MASTER LEVEL] つまみ	左に回しきった位置
[TRIM] つまみ	左に回しきった位置
[HI]、[MID]、[LOW] つまみ	中心位置
[FILTER] つまみ	中心位置
チャンネル・フェーダー	一番下の位置
クロス・フェーダー	中心位置
[CH 1]、[CH 2] スイッチ	[PC] の位置

2. [▶/II] ボタンを押して、ロードした曲を再生します。
3. チャンネル・フェーダーを上 to 動かし、[TRIM] つまみを右に回して、音量を調整します。
レベル・インジケーターのチャンネル・レベルが、オレンジ色の部分で点灯するように調整します。
4. [MASTER LEVEL] つまみを右に回して、スピーカーのレベルを調整します。

ヘッドホンで音をモニターする

1. DJ-505 のつまみを以下のように設定します。

[MIXING] つまみ	左に回しきった位置
[VOLUME] つまみ	左に回しきった位置

2. モニターするチャンネルの、チャンネル [CUE] ボタンを押します。
3. [VOLUME] つまみを右に回して、ヘッドホンのレベルを調整します。

Serato DJ の終了方法

1. Serato DJ の画面を閉じます。

Mac OS

Serato DJ の画面左上にある [○] (赤：閉じる) ボタンをクリックします。

Windows

Serato DJ の画面右上にある [×] ボタンをクリックします。

確認画面が表示されます。

2. [はい] をクリックして、Serato DJ を終了します。
3. DJ-505 に接続した機器の電源をオフにします。
4. [POWER] スイッチを押して、DJ-505 の電源をオフにします。

DJ-505を操作する

パフォーマンス・パッドの操作

ホット・キューの操作 (HOT CUE)

ホット・キューを設定すると、設定した位置から瞬時に再生できるようになります。ホット・キューは、各曲に 8 つまで設定することができます。

1. [HOT CUE] ボタンを押して、ボタンを白点灯させます。

ホット・キュー・モードになります。

2. 再生中または一時停止中に、消灯しているパフォーマンス・パッドを押します。

押したパッドに、ホット・キューが設定されます。

ホット・キュー (1 ~ 8) は、以下のようにパフォーマンス・パッドに割り当てられます。

HOT CUE 1	HOT CUE 2	HOT CUE 3	HOT CUE 4
HOT CUE 5	HOT CUE 6	HOT CUE 7	HOT CUE 8

3. 点灯している (ホット・キューが設定された) パフォーマンス・パッドを押します。

設定した位置から再生が始まります。

メモ

[SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンス・パッドを押すと、押したパッドのホット・キューが解除されます。

キュー・ループの操作 (CUE LOOP)

パフォーマンス・パッドを押すと、オート・ループ・ポイントが押したパッドのキュー・ポイントに移動して、オート・ループ再生します。

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [HOT CUE] ボタンを押して、ボタンを青点灯させます。

キュー・ループ・モードになります。

2. 再生中に、点灯しているパフォーマンス・パッドを押します。

押したパッドに設定されているホット・キューで、オート・ループ再生が始まります。ループの長さは、オート・ループの拍設定と同じです。

メモ

消灯しているパッドを押したときはホット・キューが設定され、そのままオート・ループ再生が始まります。

ループ・イン・ポイントは、以下のように各パフォーマンス・パッドに割り当てられます。

ループ 1	ループ 2	ループ 3	ループ 4
ループ 5	ループ 6	ループ 7	ループ 8

3. ループ再生のパラメーターを変更します。

- ループ再生中に、PARAMETER [-] ボタンを押す
ループ再生の長さを半分にします。
LOOP エリアの [1/2X] ボタンを押しても、同じ効果が得られます。
- ループ再生中に、PARAMETER [+] ボタンを押す
ループ再生の長さを 2 倍にします。
LOOP エリアの [2X] ボタンを押しても、同じ効果が得られます。
- ループ再生中に、[SHIFT] ボタンを押しながら LOOP [1/2X] ボタンを押す
ループの長さはそのままで、前のループに移動します。
- ループ再生中に、[SHIFT] ボタンを押しながら LOOP [2X] ボタンを押す
ループの長さはそのままで、次のループに移動します。
- [SHIFT] ボタンを押しながら同じパフォーマンス・パッドを押す
ループ・イン・ポイントに戻って、ループ再生を続けます。

4. 同じパフォーマンス・パッドをもう一度押します。

ループ再生が解除されます。

ロールの操作 (ROLL)

パフォーマンス・パッドを押すと、パッドを押している間、各パッドに割り当てられた長さ (拍) に合わせてロール再生が続きます。ロール再生中も、裏では曲が進行しています。ロール再生を解除すると、解除までに進行した位置から曲の再生が再開されます。

ご注意!

ロールは、曲の再生中でなければ動作しません。

1. [ROLL] ボタンを押して、ボタンを水色点灯させます。

ロール・モードになります。

2. PARAMETER [-] [+] ボタンを押して、パッドに割り当てる長さ (拍) を選びます。

ボタンを押すたびに、4 つのセットが切り替わります。

1/32 拍	1/16 拍	1/8 拍	1/4 拍
1/2 拍	1 拍	2 拍	4 拍

1/16 拍	1/8 拍	1/4 拍	1/2 拍
1 拍	2 拍	4 拍	8 拍

1/8 拍	1/4 拍	1/2 拍	1 拍
2 拍	4 拍	8 拍	16 拍

1/4 拍	1/2 拍	1 拍	2 拍
4 拍	8 拍	16 拍	32 拍

パソコンの画面に、選ばれているセットが表示されます。

3. パフォーマンス・パッドを押し続けます。

押したパッドに割り当てられた拍で、ロール再生します。

メモ

ロール再生中に LOOP [1/2X] ボタンや LOOP [2X] ボタンを押すと、再生中のロール音の拍を変えることができます。

4. パフォーマンス・パッドから指を離します。

ロール再生解除までに進行した位置から、曲の再生が再開されます。

スライサーの操作 (SLICER)

指定した範囲を 8 分割し、分割された区間が各パフォーマンス・パッドに割り当てます。パフォーマンス・パッドを押している間、パッドに割り当てられた区間の音声をループ再生します。

ループ再生中も、裏では曲が進行しています。

ループ再生を解除すると、解除までに進行した位置から曲の再生が再開されます。

ご注意！

- スライサーは、曲の再生中でなければ動作しません。
- スライサーは、ビート・グリッドが設定されていない曲には使えません。ビート・グリッドの詳細については、Serato DJ の取扱説明書をご覧ください。

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [ROLL] ボタンを押して、ボタンを赤点灯させます。

スライサー・モードになります。

メモ

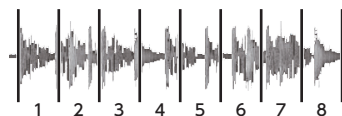
[SHIFT] ボタンを押しながら [ROLL] ボタンを 2 回押してボタンを青点灯させると、スライサー・ループ・モードになります。

2. [SHIFT] ボタンを押しながら PARAMETER [-] [+] ボタンを押して、指定範囲の長さ (拍) を選びます。

ボタンを押すたびに、設定値が切り替わります。

指定範囲の長さは、2 拍、4 拍、8 拍、16 拍、32 拍、64 拍のいずれかに設定することができます。

8 分割した区間は、以下のように各パフォーマンス・パッドに割り当てられます。



区間 1	区間 2	区間 3	区間 4
区間 5	区間 6	区間 7	区間 8

3. PARAMETER [-] [+] ボタンを押して、スライサーのフオンタイズを設定します。

フオンタイズの設定によって、パッドを押している間のループ再生の長さが変わります。

フオンタイズは、4 種類の中から選ぶことができます。

例

フオンタイズが 1 のとき：

押したパッドに割り当てられた区間全体を、ループ再生します。

フオンタイズが 1/2 のとき：

押したパッドに割り当てられた区間の、先頭から 1/2 の長さをループ再生します。

4. パフォーマンス・パッドを押し続けます。

パッドを押し続けている間、フオンタイズで指定した長さをループ再生を続けます。

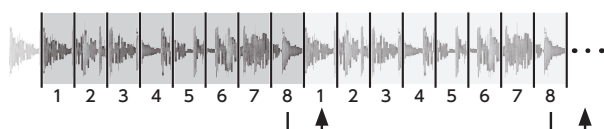
5. パフォーマンス・パッドから指を離します。

ループ再生解除までに進行した位置から、曲の再生が再開されます。

スライサー・モードとスライサー・ループ・モードの動作

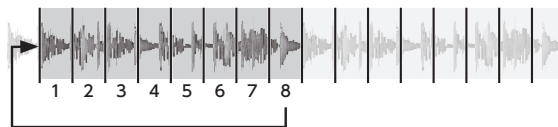
スライサー・モード

再生位置が 8 分割された範囲の最後まで進むと、画面上の範囲が次の 8 分割表示に移動し、次の 8 分割された区間が、各パッドに割り当てられます。



スライサー・ループ・モード

再生位置が 8 分割された範囲の最後まで進むと、再生位置が現在指定されている範囲の先頭に戻ります。



セーブド・ループの操作

Serato DJ のループ・スロットにループを保存したり、保存したループを呼び出したりすることができます。

1. [ROLL] ボタンを 2 回押して、ボタンを緑点灯させます。

セーブド・ループ・モードになります。

2. ループ再生中に、パフォーマンス・パッドを押します。

ループが Serato DJ のループ・スロットに割り当てられます。

スロット 1	スロット 2	スロット 3	スロット 4
スロット 5	スロット 6	スロット 7	スロット 8

3. [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンス・パッドを押します。

ループの先頭に戻って、再生を続けます。

- ループ再生中に、LOOP [1/2X] ボタンを押す
ループ再生の長さを半分にします。
 - ループ再生中に、LOOP [2X] ボタンを押す
ループ再生の長さを 2 倍にします。
 - ループ再生中に、[SHIFT] ボタンを押しながら LOOP [1/2X] ボタンを押す
ループの長さはそのまま、前のループに移動します。
 - ループ再生中に、[SHIFT] ボタンを押しながら LOOP [2X] ボタンを押す
ループの長さはそのまま、次のループに移動します。
- ※ 呼び出したループの長さを変えると、ループの設定が上書き保存されます。

4. 同じパフォーマンス・パッドをもう一度押します。

ループ再生が解除されます。

TR の操作 (TR)

TR のインストを鳴らすことができます。

1. [TR] ボタンを押して、ボタンを赤点灯させます。

TR モードになります。

パフォーマンス・パッドに、以下のようにインストが割り当てられます。

BD	SD	CH	OH
LT	HC	RS	RC

2. パフォーマンス・パッドを押します。

インストが鳴ります。

メモ

PARAMETER [-] [+] ボタンを押して、ベロシティを設定することができます。

パターンの操作 (PATTERN)

パフォーマンス・パッドを押して、TR-Sのパターン (P.18) を切り替えることができます。

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [TR] ボタンを押して、ボタンを緑点灯させます。

パターン・モードになります。

パターンが、以下のようにパフォーマンス・パッドに割り当てられます。

パターン 1	パターン 2	パターン 3	パターン 4
パターン 5	パターン 6	パターン 7	パターン 8

[SHIFT] ボタンを押すと、パターン 9 ~ 16 が選べます。

パターン 9	パターン 10	パターン 11	パターン 12
パターン 13	パターン 14	パターン 15	パターン 16

2. パフォーマンス・パッドを押す、または [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンス・パッドを押して、再生したいパターンを選びます

- パターンを再生していた場合は、パターンの再生を終了してから、押したパフォーマンス・パッドに割り当てられたパターンの再生が始まります。
- パフォーマンス・パッドを押しながら次に再生したいパフォーマンス・パッドを押すと、選択したパターンを連続で再生することができます。

TR ベロシティの操作

TR モードと同様の機能ですが、上段のパッドを押したとき、パッドを押す強さによってインストの音量が変わります。

1. [TR] ボタンを 2 回押して、ボタンをオレンジ点灯させます。

TR ベロシティ・モードになります。

BD	SD	CH	OH
LT	HC	RS	RC

2. パフォーマンス・パッドを押します。

インストが鳴ります。パッドを押す強さによってインストの音量が変わります。パッドを強く押すほど、インストの音量が大きくなります。

Serato Sampler の操作 (SAMPLER)

Serato Sampler のサンプル・スロットにロードされた曲 (サンプル) を、パフォーマンス・パッドを使って再生することができます。

1. Serato DJ の [Sampler] キーをクリックして、Sampler パネルを表示させます。

2. [SAMPLER] ボタンを押して、ボタンを赤紫点灯させます。

サンプラー・モードになります。

3. PARAMETER [-] [+] ボタンを押して、Serato Sampler のバンクを切り替えます。

Serato Sampler には 4 つのバンク (A ~ D) があり、各バンクに 8 つのスロットがあります。

4. Sampler パネルに曲をドラッグ & ドロップして、Sampler パネルの各スロットにサンプルをロードします。

サンプラーの設定とロードしたサンプルが、保存されます。

※ ローターリー・セレクトでサンプルを選択し、[SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンス・パッドを押して、サンプルをロードすることもできます。

5. パフォーマンス・パッドを押します。

押したパッドに割り当てられたスロットのサンプルを再生します。

スロット 1	スロット 2	スロット 3	スロット 4
スロット 5	スロット 6	スロット 7	スロット 8

※ 再生のしかたは、Serato Sampler の再生モードによって変わります。詳しくは Serato DJ の取扱説明書をご覧ください。

メモ

[SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンス・パッドを押すと、サンプルの再生を停止します。

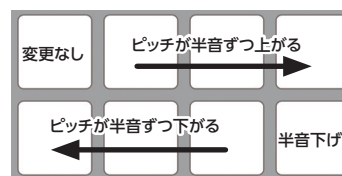
ピッチ・プレイの操作 (PITCH PLAY)

ロードした曲のピッチを半音単位で変更することができます。

1. [SAMPLER] ボタンを 2 回押して、ボタンを緑点灯させます。

ピッチ・プレイ・モードになります。

2. パフォーマンス・パッドを押して、ピッチを変更します。



ベロシティ・サンプラーの操作

サンプラー・モードと同様の機能ですが、パッドを押したとき、パッドを押す強さによってサンプルの再生音量が変わります。

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [SAMPLER] ボタンを押して、ボタンを紫点灯させます。

ベロシティ・サンプラー・モードになります。

2. パフォーマンス・パッドを押します。

押したパッドに割り当てられたスロットのサンプルを再生します。

パッドを強く押すほど、サンプルの再生音量が大きくなります。

スリップの操作

スリップをオンにすると、スクラッチ・プレイ中/ループ再生中/ホット・キューの再生中でも、裏で曲が進行します。スクラッチ・プレイ/ループ再生/ホット・キューの再生を解除すると、解除までに進行した位置から曲の再生が再開されます。曲の流れを止めることなく、いろいろな DJ パフォーマンスをすることができます。

1. [SLIP] ボタンを押して、ボタンを点灯させます。

スリップ・モードになります。

裏で曲が進行している間は、ボタンが点滅します。

曲の解析

DJ-505 の [LOAD] ボタンを押してデッキに曲をロードすると、曲の解析が始まりますが、Serato DJ をオフライン・プレーヤー (DJ-505 が接続されていない状態) で使用すると、事前に曲を解析することができます。解析が終了している曲は、デッキにロードした直後に BPM や波形が表示されるようになります。オフライン・プレーヤーでの曲の解析方法については、Serato DJ の取扱説明書をご覧ください。

※ 曲の数によっては、解析に時間がかかる場合があります。

エフェクトの操作

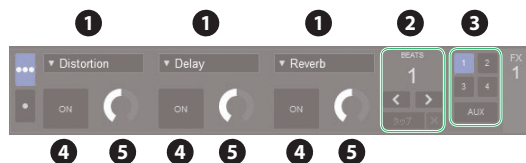
Serato DJ には 2 つのエフェクト・ユニット (FX1、FX2) があり、選択したデッキで使うことができます。

DJ-FX パネル

Serato DJ のメイン画面左上にある「FX」をクリックすると、DJ-FX パネルが開きます。

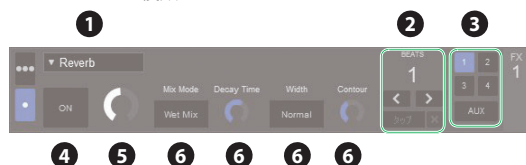
マルチ FX モード

1 つのエフェクト・ユニットで、最大 3 つのエフェクトを選択することができます。



シングル FX モード

1 つのエフェクト・ユニットで、1 つのエフェクトを選択することができます。選択したエフェクトの複数のパラメーターをコントロールすることができます。

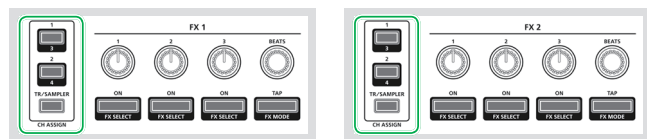


1	現在選ばれているエフェクト・タイプ
2	エフェクトのかかる時間
3	エフェクト・ユニットを使っているデッキの番号をハイライト表示
4	エフェクトのオン/オフ (オンのときはハイライト表示)
5	エフェクトのかかり具合
6	エフェクト・パラメーターと設定値

マルチ FX モードの操作

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [TAP] ボタンを押して、マルチ FX モードを選びます。
ボタンを押すたびに、マルチ FX モードとシングル FX モードが切り替わります。

2. 操作するデッキ (チャンネル) の CHANNEL ASSIGN エリアにある [1]、[2] ボタンを押して、使用するエフェクト・ユニットを選びます。



Serato DJ 画面の DJ-FX パネルに、エフェクト・ユニットを使うデッキの番号がハイライト表示されます。

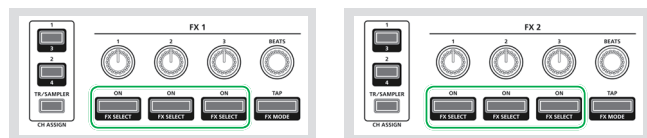
メモ

[TR/SAMPLER] ボタンを押すと、TR-S / サンプラーの音にエフェクトをかけることができます。

※ Serato DJ の Sampler パネルで、OUTPUT を「A」に設定してください。

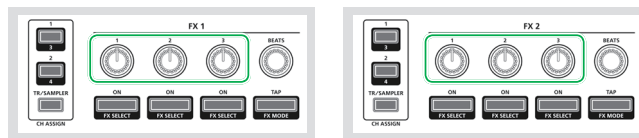
3. [SHIFT] ボタンを押しながらエフェクト・ボタンを押して、エフェクト・タイプを選びます。

ボタンを押すたびに、エフェクト・タイプが切り替わります。



4. エフェクト・ボタンを押して、エフェクトをオン (ボタン点灯) にします。

5. エフェクト・パラメーターつまみで、エフェクトの効き具合を調整します。



6. [BEATS] つまみで、エフェクトのかかる時間を調整します。

※ つまみを押すと、設定が「1」になります。

メモ

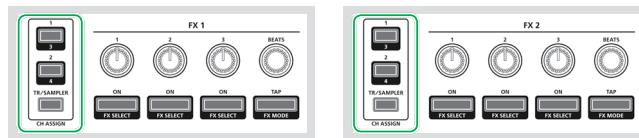
エフェクトのかかる時間の基準となる値を [TAP] ボタンを叩く間隔で設定することができます。

シングル FX モードの操作

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [TAP] ボタンを押して、シングル FX モードを選びます。

ボタンを押すたびに、シングル FX モードとマルチ FX モードが切り替わります。

2. 操作するデッキ (チャンネル) の [1]、[2] ボタンを押して、使用するエフェクト・ユニットを選びます。



Serato DJ 画面の DJ-FX パネルに、エフェクト・ユニットを使うデッキの番号がハイライト表示されます。

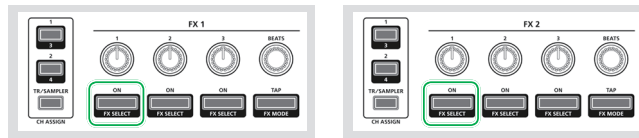
メモ

[TR/SAMPLER] ボタンを押すと、TR-S / サンプラーの音にエフェクトをかけることができます。

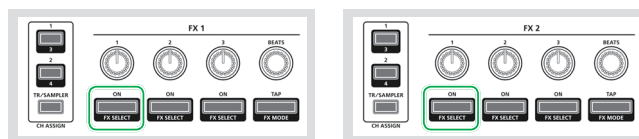
※ Serato DJ の Sampler パネルで、OUTPUT を「A」に設定してください。

3. [SHIFT] ボタンを押しながらエフェクト 1 ボタンを押して、エフェクト・タイプを選びます。

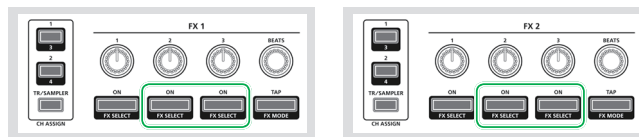
ボタンを押すたびに、エフェクト・タイプが切り替わります。



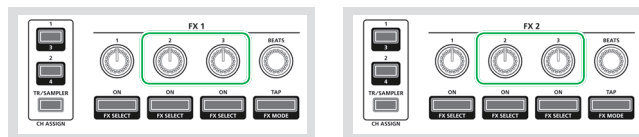
4. エフェクト 1 ボタンを押して、エフェクトをオン (ボタン点灯) にします。



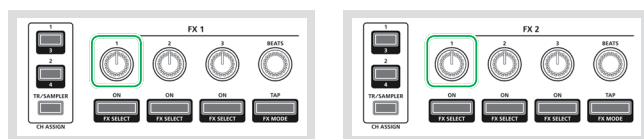
5. エフェクト 2 または 3 ボタンを押して、エフェクト・パラメーターの設定値を切り替えます。



6. エフェクト・パラメーター 2 または 3 つつまみで、エフェクト・パラメーターの設定値を調整します。



7. エフェクト・パラメーター 1 つまみで、エフェクトの効き具合を調整します。



8. [BEATS] つまみで、エフェクトのかかる時間を調整します。

※ つまみを押すと、設定が「1」になります。

メモ

エフェクトのかかる時間の基準となる値を [TAP] ボタンを叩く間隔で設定することができます。

エフェクトのテンポを変える

Serato DJ では、エフェクトのテンポを 2 つの方法で設定することができます。

自動テンポ・モード（初期設定）

曲の BPM 値を基準に、エフェクトのテンポが決まります。

手動テンポ・モード

エフェクトの基準となるテンポ（BPM 値）を、[TAP] ボタンを叩いた間隔で設定します。

テンポ・モードの切り替え

- 自動テンポ・モードのときに [TAP] ボタンを 3 回以上押すと、手動テンポ・モードに切り替わります。
- 手動テンポ・モードのときに [TAP] ボタンを長押しすると、設定したテンポがリセットされ、自動テンポ・モードに切り替わります。

録音する

Serato DJ の録音機能を使って、DJ-505 でミックスした音を録音することができます。

※ 詳しくは、Serato DJ の取扱説明書をご覧ください。

- Serato DJ の [REC] キーをクリックして、REC パネルを表示させます。
- [REC] をクリックして、録音を開始します。
- 録音を停止するときは、もう一度 [REC] をクリックします。
- 保存するときは、文字入力欄にファイル名を入力し [保存] をクリックします。

外部機器から音を入力する

リア・パネルの INPUT (CH 1, CH 2) 端子に、DJ プレーヤーやターンテーブル（アナログ）などから直接音声を入力して、DJ-505 のミキサー・セクションを使って音をミックスすることができます。

また、Serato DJ のエフェクト・ユニットを使って、外部入力音にエフェクトをかけることもできます。

MIC IN 端子に接続したマイクからの音声入力には、「システム設定」(P.22) で、専用のエフェクト（リバーブ、ディレイ）を設定することができます。

DJ プレーヤーから音を入力する

- INPUT (CH 1, CH 2) 端子のいずれかに、DJ プレーヤーなどのライン機器を接続します。
- ライン機器を接続したチャンネルに応じて、フロント・パネルの [CH 1] スイッチまたは [CH 2] スイッチを [LINE] にします。
- [TRIM] つまみやチャンネル・フェーダーで、出力レベルを調整します。
 - [HI]、[MID]、[LOW] つまみで、高／中／低域の音量を調整することができます。
 - [FILTER] つまみで、フィルターをかけることができます。
 - エフェクト・セクションを操作して、Serato DJ のエフェクトをかけることができます。

ターンテーブルから音を入力する

- INPUT 端子 (CH 1, CH 2) のいずれかに、ターンテーブルを接続します。
- ターンテーブルを接続したチャンネルに応じて、フロント・パネルの [CH 1] スイッチまたは [CH 2] スイッチを [PHONO] にします。
- [TRIM] つまみやチャンネル・フェーダーで、出力レベルを調整します。
 - [HI]、[MID]、[LOW] つまみで、高／中／低域の音量を調整することができます。
 - [FILTER] つまみで、フィルターをかけることができます。
 - エフェクト・セクションを操作して、Serato DJ のエフェクトをかけることができます。

マイクから音を入力する

- MIC IN 端子に、マイクを接続します。
- リア・パネルの [MIC SENS] つまみで、マイク入力の感度を調整します。
- フロント・パネルの [MIC LEVEL] つまみで、マイクの出力音声を調整します。
 - 「システム設定」(P.22) で、マイク入力に専用のエフェクト（リバーブ、ディレイ）が設定できます。

TR-S の操作

ローランドのリズム・マシン TR-808 などのサウンドで、パターンの再生や作成をします。
また、Serato DJ のサンプルを使って、パターンを作成することもできます。

インストとは？

TR-S で扱うドラム音です。
各インストは、好みの音色に変更することができます。

BD	バス・ドラム	SD	スネア・ドラム
CH	クローズド・ハイハット	OH	オープン・ハイハット
LT	ロー・タム	HC	ハンド・クラップ
RS	リム・ショット	RC	ライド・シンバル

パターンとは？

TR-REC (ステップ・レコーディング) や INST-REC (リアルタイム・レコーディング) で、インストの演奏情報を記録したものを「パターン」と呼びます。
TR-S では、16 個のパターンを作成／保存することができます。

パターンの再生／コピー／消去

パターンを再生する

1. [PATTERN] ボタンを押して、点灯させます。
2. TR-S パッド [1] ～ [16] を押して、再生したいパターンを選びます。
押した TR-S パッドが点灯します。
 - TR-S パッドを押しながら次に再生したいパターンの TR-S パッドを押すと、選択したパターンを連続で再生することができます。
3. [START/STOP] ボタンを押します。
パターンの再生が始まります。
 - 再生中に次のパターンを選択すると、押した TR-S パッドが点滅します。
 - [VALUE] つまみを回すと、再生テンポ (BPM5.0 ～ 800.0) が変わります。
[SHIFT] ボタンを押しながら [VALUE] つまみを回すと、値が 10 単位で変わります。
 - [SHIFT] ボタンを押しながらミキサー・セクションの TR/SAMPLER [CUE] ボタンを押すと、TR/SAMPLER [CUE] ボタンを繰り返し押した間隔で、パターンの再生テンポを設定することができます (タップ・テンポ機能)。

特定のステップをループ再生にする (STEP LOOP)

パターンの再生中に、選んだステップをループ再生させることができます。
選んだステップで鳴らすインストが、すべてループ再生になります。

1. [START/STOP] ボタンを押して、パターンを再生します。
2. [SHIFT] ボタンを押しながら [SCALE] ボタンを押して、速い点滅にします。
3. ループ再生させたいステップの TR-S パッドを押します。
選んだステップのループ再生が始まります。TR-S パッドから指を離すと、パターンの再生に戻ります。
 - [SHIFT] ボタンを押しながら TR-S パッドを押すと、TR-S パッドから指を離してもステップのループ再生が続きます (ホールド)。ホールドを解除するときは、TR-S パッドを押します。

音の跳ねかたを変える (SHUFFLE)

シャッフル (音の跳ね具合) を調整します。
パターンの裏拍の発音タイミングをずらして、跳ねたリズムにすることができます。

1. [SHUFFLE] ボタンを押して、点滅させます。
2. [VALUE] つまみで、発音のタイミングを調整します。

表示 (設定値)	説明
5-50 ～ 5 50	値が大きいほど発音のタイミングが遅くなり、値が小さいほど発音のタイミングが早くなります。

パターンの再生タイミングを前後にずらす (NUDGE)

ナッジを調整します。
パターンの再生タイミングを前後にずらして、ノリのあるリズムにすることができます。

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [SHUFFLE] ボタンを押して、速い点滅にします。
2. [VALUE] つまみで、発音のタイミングを調整します。

表示 (設定値)	説明
n-24 ～ n 24	値が大きいほど発音のタイミングが速くなり、値が小さいほど発音のタイミングが遅くなります。

パターンをコピーする

1. [PATTERN] ボタンを押して、点灯させます。
2. [SHIFT] ボタンを押しながら TR-S パッド [1] ～ [16] を押して、コピー元のパターンを選びます。
コピー先に選択できる TR-S パッドが、黄色で点滅します。
※ 中止する場合は、[PATTERN] ボタンまたは [TR-REC] ボタンを押します。
3. 点滅している TR-S パッド [1] ～ [16] を押して、コピー先のパターンを選びます。
※ パターン再生中にパターンをコピーした場合は、自動的にコピー先のパターンを再生します。

パターンを消去する

1. [PATTERN] ボタンを押して、点灯させます。
2. [CLEAR] ボタンを押しながら、消去したいパターンに対応した TR-S パッドを押します。
押した TR-S パッドに保存されていたパターンが消去されます。

インストを消去する

パターンから、指定したインスト (サンプル) だけを消去します。

1. [INST] ボタンを押して、点灯させます。
2. [CLEAR] ボタンを押しながら、消去したいインストに対応した TR-S パッド ([1] (BD) ～ [8] (RC)、[9] (S1) ～ [16] (S8) のいずれか) を押します。

インスト／キットの変更

インストの音色をキット単位で変える

12 個のキットを使うことができます。

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [INST] ボタンを押して、点滅させます。
2. TR-S パッド [1] ～ [12] を押して、キット 1 ～ 12 を切り替えます。
押した TR-S パッドが点滅します。

インストごとに音色を変える

メモ

音色を変更すると、現在選ばれているキットの設定として自動的に保存されます。

1. [INST] ボタンを押して、点灯させます。
2. TR-S パッド [1] (BD) ～ [8] (RC) のいずれかを押しながら [VALUE] つまみを回します。
選んだ音色が、ディスプレイに表示されます。

操作	表示	説明
[1] (BD) + [VALUE] つまみ	80.bd	TR-808 バス・ドラム
	90.bd	TR-909 バス・ドラム
	80.b l	TR-808 バス・ドラム (ロング・ディケイ)
	70.bd	TR-707 バス・ドラム
[2] (SD) + [VALUE] つまみ	60.bd	TR-606 バス・ドラム
	80.sd	TR-808 スネア・ドラム
	90.sd	TR-909 スネア・ドラム
	70.sd	TR-707 スネア・ドラム
[3] (CH) + [VALUE] つまみ	60.sd	TR-606 スネア・ドラム
	80.ch	TR-808 クローズド・ハイハット
	90.ch	TR-909 クローズド・ハイハット
	70.ch	TR-707 クローズド・ハイハット
[4] (OH) + [VALUE] つまみ	60.ch	TR-606 クローズド・ハイハット
	80.oh	TR-808 オープン・ハイハット
	90.oh	TR-909 オープン・ハイハット
	70.oh	TR-707 オープン・ハイハット
[5] (LT) + [VALUE] つまみ	60.oh	TR-606 オープン・ハイハット
	80.lt	TR-808 ロー・タム
	90.lt	TR-909 ロー・タム
	70.lt	TR-707 ロー・タム
[6] (HC) + [VALUE] つまみ	60.lt	TR-606 ロー・タム
	80.hc	TR-808 ハンド・クラップ
	90.hc	TR-909 ハンド・クラップ
	70.hc	TR-707 ハンド・クラップ
[7] (RS) + [VALUE] つまみ	80.rs	TR-808 リム・ショット
	90.rs	TR-909 リム・ショット
	70.rs	TR-707 リム・ショット
[8] (RC) + [VALUE] つまみ	80.cb	TR-808 カウベル
	90.rc	TR-909 ライド・シンバル
	70.rc	TR-707 ライド・シンバル
	60.cy	TR-606 シンバル

すべてのインストを特定の機種の音色に一括変更する

キットのインストを、特定のリズム・マシン (TR-808 / TR-909 / TR-707 / TR-606 のいずれか 1 つ) の音色に一括変更することができます。

メモ

音色を変更すると、現在選ばれているキットの設定として自動的に保存されます。

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [INST] ボタンを押して、点滅させます。
2. 一括変更したいキットに対応した TR-S パッドを押しながら [VALUE] つまみを回して、音色を選びます。

表示 (設定値)	説明
80 80	TR-808 の音色
90 90	TR-909 の音色
70 70	TR-707 の音色
60 60	TR-606 の音色

インストの音色を調整する

メモ

音色を変更すると、現在選ばれているキットの設定として自動的に保存されます。

操作	説明
[LEVEL] つまみ	選んだインストの、音量を調整します。 設定値: 0 ～ 100
[ATTACK] つまみ	[1] (BD) が選ばれているときはアタックの強さを、[2] (SD) が選ばれているときはスナッピーを調整します。 設定値: 0 ～ 100
[TUNE] つまみ	選んだインストの、チューニング (ピッチ) を調整します。 設定値: 0 ～ 100
[DECAY] つまみ	選んだインストの、余韻の長さを調整します。 設定値: 0 ～ 100

キットにエフェクトを設定する

TR-S 専用のエフェクトを、各キットに設定することができます。

メモ

エフェクトを設定すると、現在選ばれているキットの設定として自動的に保存されます。

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [INST] ボタンまたは [PATTERN] ボタンを押して、点滅させます。
2. 以下のつまみで、エフェクトを設定します。

操作	エフェクト	説明
[ATTACK] つまみ	COMPRESSOR	全体の音量のばらつきを抑えます。 設定値: 0 ～ 100
[TUNE] つまみ	DRIVE	歪みが得られます。 設定値: 0 ～ 100
[DECAY] つまみ	TRANSIENT	アタックを強調し、ディケイを抑えることで、音の輪郭をはっきりとさせます。 設定値: 0 ～ 100

キットをコピーする

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [INST] ボタンを押して、点滅させます。
2. [SHIFT] ボタンを押しながら TR-S パッド [1] ～ [12] を押して、コピー元のキットを選びます。
コピー先に選択できる TR-S パッドが、青色で点滅します。
※ 中止する場合は、[INST] ボタンまたは [TR-REC] ボタンを押します。
3. 点滅している TR-S パッド [1] ～ [12] を押して、コピー先のキットを選びます。

TR-REC (ステップ・レコーディング)

インストごとに、音を鳴らすステップを指定してパターンを作成します。パターンを再生しながらでも作成できます。

1. [TR-REC] ボタンを押して、点灯させます。
2. TR-S パッド [1] ～ [16] を押して、音を鳴らしたいステップを指定します。

弱打を入力する

[SHIFT] ボタンを押しながら記録するインストの TR-S パッド [1] ～ [16] を押すと、指定したステップのインストを弱打にすることができます。弱打にしたときは、TR-S パッドの点灯色が薄くなります。

ペロシティーを入力する

ペロシティーを設定するインストの TR-S パッド [1] ～ [16] を押しながら [VALUE] つまみを回して、ペロシティーを設定します。

表示 (設定値)

0 ～ 127

ステップ・ロールを入力する

ロールを設定するインストの TR-S パッド [1] ～ [16] を押しながら [TR-REC] ボタンを押して、ロールを設定します。指定した拍の間隔で、インストを連続再生することができます。

表示 (設定値)

1_ 16、1_ 32、1_ 48、1_ 64

説明

1/16 拍、1/32 拍、1/48 拍、1/64 拍

インストを設定する

記録するインスト (サンプル) を設定します。

1. [INST] ボタンを押して、点灯させます。
現在選ばれているインストの TR-S パッドが点滅します。
2. TR-S パッド [1] (BD) ～ [8] (RC) のいずれかを押します。

Serato DJ のサンプルをインストに設定する

Serato DJ のサンプル・プレーヤーにサンプルが保存されている場合、TR-S パッド [9] (S1) ～ [16] (S8) で選択したサンプルをインストとして、パターンを作成することができます。

スケールを設定する

1 ステップの音の長さを設定します。

1. [SCALE] ボタンを押して、点滅させます。
2. [VALUE] つまみで、スケールを設定します。
ディスプレイに、現在のスケールが表示されます。

表示	スケール	説明
8t	8 分 3 連符 (♩)	3 ステップで 1 拍になります。
16t	16 分 3 連符 (♩)	6 ステップで 1 拍になります。
16	16 分音符 (♪)	4 ステップで 1 拍になります。
32	32 分音符 (♪)	8 ステップで 1 拍になります。

パターンの長さを設定する (ラスト・ステップ)

パターンで使用するステップ数 (ラスト・ステップ) を設定します。

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [SCALE] ボタンを押して、速い点滅にします。
ディスプレイに、現在のラスト・ステップが表示されます。
2. [VALUE] つまみで、ラスト・ステップを設定します。

表示 (設定値)

L5 1 ～ 16

アクセントを指定する

ステップにアクセントを付けることができます。
アクセントを付けたステップは、通常よりも音量が大きくなります。

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [PATTERN] ボタンを押して、点滅させます。
2. TR-S パッド [1] ～ [16] を押して、アクセントを付けるステップを指定します。
3. [LEVEL] つまみで、アクセントの強さを調整します。

録音したインスト (サンプル) / アクセントをパターンから消去する

TR-REC / アクセントのステップ入力中に [CLEAR] ボタンを押すと、押している間のステップに設定されたインスト / アクセントを削除することができます。

INST-REC (リアルタイム・レコーディング)

パフォーマンス・パッドの演奏をリアルタイムに録音して、パターンを作成します。

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [TR-REC] ボタンを押して、点滅させます。
2. [START/STOP] ボタンを押します。
3. パフォーマンス・パッドを叩いて、演奏を録音します。

BD ～ RC のインストを録音するとき

[TR] ボタンを押して点灯させます。
パフォーマンス・パッドに、以下のようにインストが割り当てられます。

BD	SD	CH	OH
LT	HC	RS	RC

Serato DJ のサンプルを録音するとき

[SAMPLER] ボタンを押して点灯させます。
パフォーマンス・パッドに、以下のようにサンプルが割り当てられます。
※ [SHIFT] ボタンを押しながら [INST] ボタンを押して点滅させ、TR-S パッド [13] ～ [16] を押すと、サンプル・プレーヤーのバンク A ～ D を切り替えることができます。

サンプル 1	サンプル 2	サンプル 3	サンプル 4
サンプル 5	サンプル 6	サンプル 7	サンプル 8

録音したインストをパターンから消去する

INST-REC 中に、[SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンス・パッドを押すと、対応するインストを削除することができます。

TR-S のテンポと Serato DJ のテンポを同期させる

TR-S の [SYNC] ボタンを押すと、デッキにロードした曲のテンポに、TR-S のテンポを同期させることができます。
Serato DJ のバーチャル・デッキに表示させるテンポと TR-S のディスプレイに表示されるテンポが同じ値になります。

TR-S のデータをバックアップ／リストアする

バックアップ

TR-S の全パターンとインストの設定を、バックアップできます。

1. TR/SAMPLER [CUE] ボタンを押しながら電源を入れます。
TR-S パッド [1] ～ [16] とパフォーマンス・パッドが、緑色に点滅します。
2. DJ-505 とパソコンを、USB ケーブルで接続します。
TR-S パッド [1] ～ [16] とパフォーマンス・パッドが、緑色に点灯します。
3. パソコンで、「Roland」ドライブを開きます。
4. [BACKUP] フォルダを開き、dj_prm_kit1.prm ～ dj_prm_kit12.prm までと dj_prm_ptn1.prm ～ dj_prm_ptn16.prm までの全ファイルをパソコンにコピーします。
5. コピーが完了したら、「Roland」ドライブの取り出しを実行します。
6. USB ケーブルを抜きます。
TR-S パッド [1] ～ [16] とパフォーマンス・パッドが緑色に点滅している状態に戻ります。
7. 電源をオフにします。

リストア

パソコンにバックアップした TR-S のデータを、本体に戻します。

1. TR/SAMPLER [CUE] ボタンを押しながら電源を入れます。
TR-S パッド [1] ～ [16] とパフォーマンス・パッドが、緑色に点滅します。
2. DJ-505 とパソコンを、USB ケーブルで接続します。
TR-S パッド [1] ～ [16] とパフォーマンス・パッドが、緑色に点灯します。
3. パソコンで、「Roland」ドライブを開きます。
4. [RESTORE] フォルダに、バックアップ・ファイルをコピーします。
5. コピーが完了したら、「Roland」ドライブの取り出しを実行します。
6. USB ケーブルを抜きます。
7. TR-S パッド [1] ～ [16] とパフォーマンス・パッドが緑色に点滅するまで、待ちます。

ご注意！

TR-S パッドとパフォーマンス・パッドが緑色に点滅するまで、絶対に電源を切らないでください。

8. 電源をオフにします。

DJ-505 をスタンドアローン・モードで使う

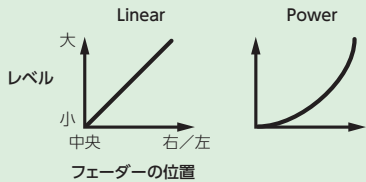
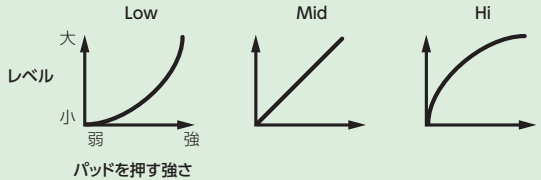
DJ-505 は、Serato DJ と接続していない（Serato DJ が起動していない）状態で使うことができます。

スタンドアローン・モードのとき、DJ-505 の各セクションで使える機能は以下のとおりです。

セクション	使える機能
ミキサー・セクション	[TRIM] つまみ ※ [CH 1]、[CH 2] スイッチが「PC」のときは動作しません。
	[HI]、[MID]、[LOW] つまみ
	[FILTER] つまみ
	チャンネル [CUE] ボタン
	チャンネル・フェーダー
	[MASTER LEVEL] つまみ
	[BOOTH LEVEL] つまみ
	[MIXING] つまみ
	[TR/SAMPLER LEVEL] つまみ
	TR/SAMPLER [CUE] ボタン
フロント・パネル	クロス・フェーダー
	[CROSS FADER CURVE] スイッチ
	[CROSS FADER REVERSE] スイッチ
	[CH 1]、[CH 2] スイッチ
TR-S セクション	[VOLUME] つまみ
	[MIC LEVEL] つまみ
デッキ・セクション	Serato Sampler の再生と [SYNC] ボタンを除く、すべての機能を使用することができます。
	ボタン／つまみを操作すると、MIDI メッセージが送信されます。
その他	パフォーマンス・パッド
	※ 初期設定では、TR モードになります。他のモードに切り替えることもできますが、TR モード以外では、ボタンやパッドを押したときに MIDI メッセージを送信するのみとなります。
その他	• トップ・パネルの操作子（TR-S の操作子を除く）を動かす（押す）と、MIDI メッセージが送信されます。
	• MIDI メッセージは、PC 端子から送信されます。MIDI OUT 端子からは、同期用の MIDI メッセージのみ送信されます。

システム設定

1. ブラウザー・セクションにある右側（R チャンネル）の [LOAD] ボタンを押しながら [POWER] スイッチを押して、電源をオンにします。
システム設定モードになり、TR-S セクションの [START/STOP] ボタンが点滅します。
2. 設定項目に対応した TR-S パッドまたはボタンを押します。
現在の設定がディスプレイに表示されます。
3. [VALUE] つまみで、設定値を変更します。
4. 設定が終わったら、点滅している [START/STOP] ボタンを押します。
しばらくすると、ディスプレイに [END] と表示されます。
5. DJ-505 の電源を入れ直します。

パッド	項目	設定値（太字：初期値）	説明
TR-S パッド	[1] マイク音声のロー・カット・フィルター設定	OFF、1、 2 ~ 10	マイクの音声に効かせるロー・カット・フィルターの効き具合を調整します。 1 ~ 10 値が大きくなるほど、効きが強くなります。 OFF ロー・カット・フィルターは効きません。
	[2] マイク音声のノイズ・ゲート設定	OFF、1、 2 ~ 10	マイクの音声に効かせるノイズ・ゲートの効き具合を調整します。 1 ~ 10 値が大きくなるほど、レベルが大きい音もカットされるようになります。 OFF ノイズ・ゲートは効きません。
	[3] マイク入力のエフェクト選択	OFF、 Reverb (Reverb)、 Delay (Delay)、 Delay + Reverb (Delay + Reverb)	マイクの音声に効かせるエフェクトを設定します。 Reverb リバーブがかかります。 Delay デレイがかかります。 Delay + Reverb デレイとリバーブが同時にかけられます。 OFF エフェクトはかかりません。
	[4] マイク入力のエフェクト設定	OFF、1 ~ 2 ~ 10	マイクの音声に効かせるエフェクトの効き具合を調整します。 1 ~ 10 値が大きくなるほど、エフェクトが深くかけられます。 OFF エフェクトはかかりません。
	[5] BOOTH OUT 端子の設定	On 、OFF	BOOTH OUT 端子にマイクの音声を出力するか (On) しないか (OFF) を設定します。
	[6] DVS の入力選択	PHONO (PHONO)、 LINE (LINE)、 AUX (AUX)	DVS 使用時の入力信号を選びます。 PHONO フォノ・レベル (EQ アンプなしターンテーブルを接続) の入力をソースにします。 LINE ライン・レベル (DJ プレーヤー、EQ アンプ付きターンテーブルを接続) の入力をソースにします。 AUX DVS を使わずに、INPUT (CH 1、CH 2) 端子への入力を AUX 信号として使います。
	[7] EQ ([HI] / [MID] / [LOW] つまみ) の最大値	3db 、6db	イコライザーの最大値を設定します。 各チャンネルにある [HI] / [MID] / [LOW] つまみを右いっぱい回したときの値が、設定した値になります。 ※ この設定は、スタンドアローン・モードのときのみ有効です。
	[8] MASTER OUT のアッテネーター・レベル	0 、-3、-6、-12、-18 (dB)	マスター出力の減衰レベルを設定します。マスター出力のレベルが、設定値の分だけ小さくなります。
	[9] BOOTH OUT のアッテネーター・レベル	0 、-3、-6、-12、-18 (dB)	BOOTH OUT の減衰レベルを設定します。BOOTH OUT のレベルが、設定値の分だけ小さくなります。
	[10] クロス・フェーダーの特性	LINE (Linear)、 Power (Power)	クロス・フェーダーの変化カーブを設定します。  ※ この設定は、スタンドアローン・モードのときのみ有効です。
	[11] クロス・フェーダー両端のマージン	0 、1 ~ 10	クロス・フェーダーの両端のマージンを設定します。値が大きくなるほどマージンが多くなり、クロス・フェーダー両端の遊びが多くなります。
	[12] パフォーマンス・パッドのベロシティ・カーブ	Low (Low)、 Mid (Mid)、 Hi (Hi)	パフォーマンス・パッドのベロシティ・カーブ (パッドを押す強さに対するレベル変化のしかた) を設定します。  ※ この設定は、スタンドアローン・モードのときのみ有効です。
	[13] TR-S セクションのノブ・モード	Pick (Pick)、 Jump (Jump)	TR-S セクションの、つまみの動作を設定します。 Pick 呼び出した値とつまみの位置に食い違いがあるときに、つまみを回して値とつまみの位置が一致した時点で、データを出力します。 Jump 常にその位置のデータを出力します。
	[14] デモ・モードの時間設定	OFF、1 ~ 3 ~ 10	DJ-505 を操作しなくなったらデモ・モードになるまでの時間 (分) を設定します。OFF にすると、デモ・モードは動作しません。
	[15] LED の明るさ調整	0 ~ 3	ボタン/パッド/インジケータ点灯時の明るさを調整します。 値が大きくなるほど暗くなります。
	[16] Auto Off 機能 (P.10) の設定	On 、OFF	一定時間操作しない状態が続くと、自動で電源が切れるようにします。自動で電源を切る必要がない場合は、「OFF」に設定します。

パッド	項目	設定値 (太字: 初期値)	説明
L チャンネル	[1] パフォーマンス・パッドの感度調整	0 ~ 20 ~ 30	パフォーマンス・パッドの感度を調整します。値を小さくするほど感度が良くなります。
	[2] ジョグ・ダイヤル天面の感度調整	Normal (Normal)、 Lev1 (Lev1) ~ 5	ジョグ・ダイヤルから手を離したときの感度を調整します。 Normal 標準的な感度です。 Lev1 ~ 5 値が大きいくほど、反応が良くなります。
パフォーマンス・パッド	[3] バック・スピン・レンジ	OFF 、 Short (Short)、 Normal (Normal)、 Long (Long)	ジョグ・ダイヤルをバック・スピン操作したとき、実際のジョグ・ダイヤルの回転距離よりも長くバック・スピン動作させることができます。
		OFF	実際の回転距離で、バック・スピン動作します。
		Short	バック・スピン動作が、Normal よりも短くなります。
		Normal	実際の回転距離よりも長く、バック・スピン動作します。(標準)
		Long	バック・スピン動作が、Normal よりも長くなります。

工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット)

本体に記憶されているシステム設定と TR-S のパターンを、工場出荷時の設定に戻すことができます (ファクトリー・リセット)。

1. ブラウザー・セクションにある左側 (L チャンネル) の [LOAD] ボタンを押しながら [POWER] スイッチを押して、電源をオンにします。

ディスプレイに「**PLF**」と表示され、TR-S セクションの [START/STOP] ボタンが点滅します。

※ 中止する場合は、電源を切ります。

2. 点滅している [START/STOP] ボタンを押します。

ファクトリー・リセットが始まります。

ディスプレイに「**PLF**」と表示されたら、ファクトリー・リセット完了です。

ご注意!

ディスプレイに「**PLF**」と表示されるまでは、絶対に電源を切らないでください。

3. DJ-505 の電源を入れ直します。

Serato Flipを使う

別途 Serato Flip Expansion Pack を購入することで、ホット・キューの操作を、Serato DJ で記録／呼び出しができるようになります。

※ Serato Flip Expansion Pack のサポート情報については、Serato のサポートページをご覧ください。

<https://support.serato.com/hc/en-us>

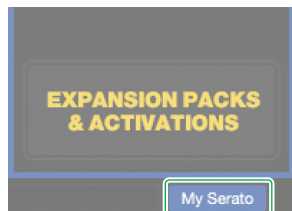
Serato Flip Expansion Pack を購入する

Serato DJ の my serato 画面から「Serato Flip Expansion Pack」を購入します。

※ Serato オンライン・ストアから購入することもできます。

<http://store.serato.com/us/software>

1. インターネット接続されたパソコンと DJ-505 の USB 端子を接続します。
2. DJ-505 の電源をオンにします。
3. Serato DJ を起動します。
4. Serato DJ 画面右下の [MY SERATO] をクリックします。



メール・アドレスの入力画面が表示されます。

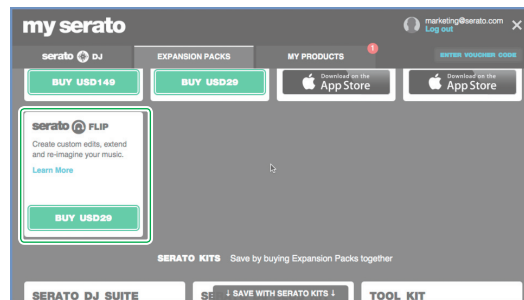


5. メール・アドレスを入力して、[CONTINUE] をクリックします。
パスワードの入力画面が表示されます。



6. パスワードを入力して、[LOGIN] をクリックします。

7. my serato 画面の「EXPANSION PACKS」タブをクリックします。



8. 「Serato FLIP」を選んで [BUY USD XX] をクリックします。
9. 画面の指示に従って、必要事項を入力します。

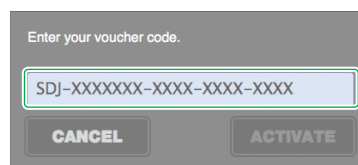
「Serato Flip Expansion Pack」のバウチャー・コードが送られてきます。
紛失しないように、大切に保管してください。

Serato Flip Expansion Pack をアクティベートする

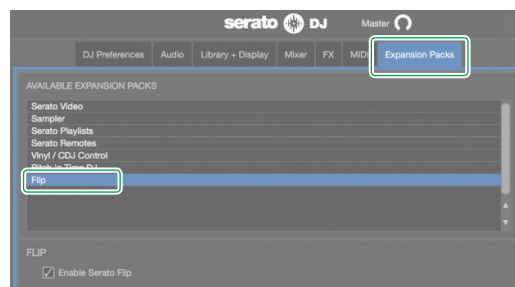
1. my serato 画面右上の [ENTER VOUCHER CODE] をクリックします。
バウチャー・コード入力画面が表示されます。



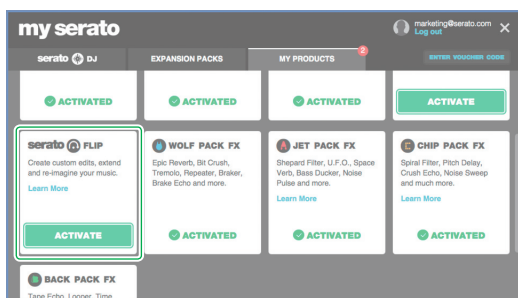
2. バウチャー・コードを入力して、[ACTIVATE] をクリックします。



3. Serato DJ のメイン画面右上の [SETUP] をクリックして、SETUP 画面を表示させます。
4. [Expansion Packs] をクリックしてから [Flip] を選択します。

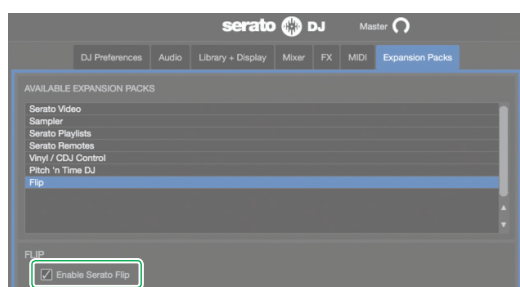


※ [Flip] が表示されないときは、my serato 画面で [MY PRODUCTS] タブをクリックし、[Serato Flip] がアクティベートされているかを確認してください。以下の画面が表示されていたときは、[ACTIVATE] をクリックしてください。



5. [Enable Serato Flip] にチェック・マークが付いていることを確認します。

チェック・マークがない場合は、チェックを付けてください。



6. Serato DJ を終了します。

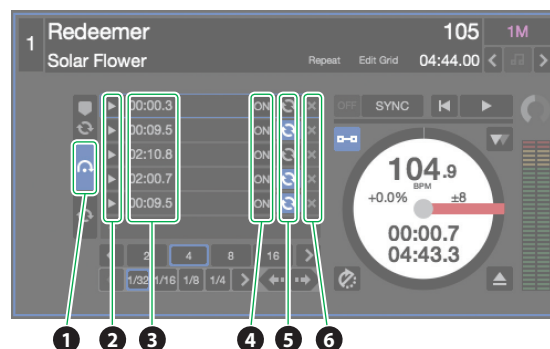
7. DJ-505 の電源をオフにして、1 分程度経ってから再度電源をオンにします。

8. Serato DJ を再起動します。

※ Serato Flip をアクティベートしたら、必ず Serato DJ を再起動させてください。再起動しないと、DJ-505 を操作しても Serato DJ が反応しない場合があります。

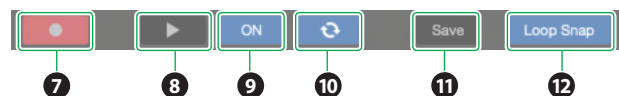
Serato DJ 画面の Flip 表示について

バーチャル・デッキ画面



1	Flip タブ	Flip スロットを表示させるときに使います。
2	Flip プレイ/トリガー	呼び出したい Flip をオンにして、Flip の先頭から再生させるときに使います。
3	Flip スタート・タイム	各 Flip スロットに、Flip の先頭時間が表示されます。 Flip がオンのとき、曲がこの時間に到達すると Flip の再生が始まります。 ※ ダブルクリックすると、Flip に名前を付けることができます。
4	Flip スロットのオン/オフ	Flip をオン/オフします。 Flip がオンにしても、曲が Flip の先頭時間に到達するまでは、Flip の再生は始まりません。
5	Flip スロット・ループ	ハイライト表示のときに、Flip がループ再生になります。
6	Flip スロット・デリート	Flip を消去します。

Serato DJ Flip パネル

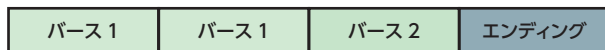
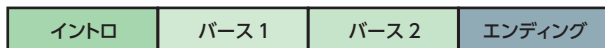


7	Flip レコード	Flip を記録できる状態にします。 Flip レコードがオンになっても、すぐに Flip の記録は始まりません。 Flip レコードがオンになったあと、ホット・キューによる演奏が始まると、Flip の記録が始まります。 Flip の記録を終了するときは、Flip レコードをオフにします。
8	Flip プレイ	Flip をオンにして、Flip の先頭から再生が始まります。 Flip 再生中のときは、Flip の先頭に戻ります。
9	Flip オン/オフ	Flip をオン/オフします。 Flip がオンにしても、曲が Flip の先頭時間に到達するまでは、Flip の再生は始まりません。
10	Flip ループ	ハイライト表示のときに、Flip がループ再生になります。
11	Flip セーブ	記録した Flip を、Flip スロットに保存します。
12	Flip ループ・スナップ	ハイライト表示のとき、Flip の終了ポイントが拍位置に合うように自動で調節されます。

Flip の操作

ここでは、Serato Flip を使って、元の曲とは構成の違う曲を作る手順を説明します。

元の曲

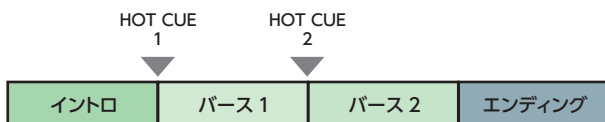


ご注意！

PARAMETER [-] [+] ボタンで Flip の操作ができるのは、HOT CUE モードのみです。

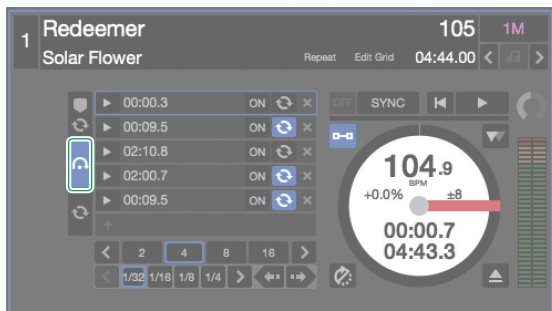
ホット・キューを設定する

1. 曲をロードします。
2. [HOT CUE] ボタンを押して、ボタンを白点灯させます。
ホット・キュー・モードになります。
3. パフォーマンス・パッドを押して、下図のようにホット・キューを設定します。



Flip を作成する

1. Serato DJ の [Flip] キーをクリックして、Flip パネルを表示させます。
2. バーチャル・デッキ画面で Flip タブをクリックして、Flip スロットを表示させます。



3. PARAMETER [-] ボタンを押して、Flip の記録待機状態にします。
4. 曲を再生し、下図のようにホット・キューを操作します。



5. もう一度 PARAMETER [-] ボタンを押して、Flip の記録を停止します。
Flip の記録を停止すると、記録した Flip のループ再生が始まります。

※ 記録した Flip は一時的なメモリーに入り、まだ保存されていません。Flip スロットへの保存をせずに Serato DJ を終了すると、Flip は失われます。

Flip を保存する

1. バーチャル・デッキ画面で Flip スロットをクリックして、Flip の保存先を選択します。
2. Flip パネルの [Save] をクリックします。



Flip を呼び出して再生する

1. バーチャル・デッキ画面で Flip スロットをクリックして、Flip スロットを選択します。

2. [SHIFT] ボタンを押しながら PARAMETER [-] ボタンを押して、Flip のループ再生をオン/オフします。

バーチャル・デッキ画面の Flip スロット・ループまたは Flip パネルの Flip ループがハイライト表示のとき、Flip はループ再生されます。

※ 一時的なメモリーに未保存の Flip があるときは、一時的なメモリーにある Flip のループがオン/オフされます。一時的なメモリーにある Flip が Flip スロットに保存されると、選択されている Flip スロットにある Flip のループがオン/オフします。

3. 曲を再生し、PARAMETER [+] ボタンを押して Flip を再生します。

※ 一時的なメモリーに未保存の Flip があるときは、一時的なメモリーにある Flip が呼び出されます。一時的なメモリーにある Flip が Flip スロットに保存されると、選択されている Flip スロットにある Flip が呼び出されます。呼び出された Flip は、Flip の先頭から再生されます。

- [SHIFT] ボタンを押しながら PARAMETER [+] ボタンを押すと、Flip の先頭に移動しないまま Flip をオンすることもできます。この場合、曲の再生位置が Flip の先頭に到達すると Flip が再生されます。

Flip の再生中に Flip の先頭に移動する

1. Flip の再生中に、PARAMETER [+] ボタンを押します。
ボタンを押すたびに、Flip の先頭に戻って再生が続きます。
4. Flip を終了するときは、[SHIFT] ボタンを押しながら PARAMETER [+] ボタンを押します。

セーブド・フリップの操作

パフォーマンス・パッドを押すと、保存してある Flip を再生することができます。

1. [HOT CUE] ボタンを 2 回押して、ボタンをオレンジ点灯させます。
セーブド・フリップ・モードになります。

2. 点灯しているパフォーマンス・パッドを押します。
押したパッドに対応した Flip スロットにある Flip の再生が始まります。

- [SHIFT] ボタンを押しながら点灯しているパフォーマンス・パッドを押すと、対応する Flip スロットにある Flip が呼び出されますが、Flip の先頭へは移動しません。この場合、曲の再生位置が Flip の先頭に到達すると Flip が再生されます。

Serato DVSを使う

別途 Serato DVS Expansion Pack を購入することで、本機に接続した DJ プレーヤーやターンテーブル (アナログ) で Serato DJ のデッキを操作できるようになります。

※ Serato DVS Expansion Pack のサポート情報については、Serato のサポート・ページをご覧ください。

<https://support.serato.com/hc/en-us>

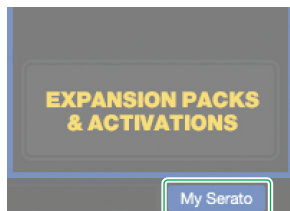
Serato DVS Expansion Pack を購入する

Serato DJ の my serato 画面から「Serato DVS Expansion Pack」を購入します。

※ Serato オンライン・ストアから購入することもできます。

<http://store.serato.com/us/software>

1. インターネット接続されたパソコンと DJ-505 の USB 端子を接続します。
2. DJ-505 の電源をオンにします。
3. Serato DJ を起動します。
4. Serato DJ 画面右下の [MY SERATO] をクリックします。



メール・アドレスの入力画面が表示されます。

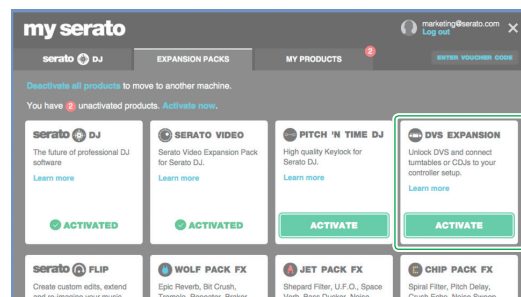


5. メール・アドレスを入力して、[CONTINUE] をクリックします。
パスワードの入力画面が表示されます。



6. パスワードを入力して、[LOGIN] をクリックします。

7. my serato 画面の「EXPANSION PACKS」タブをクリックします。



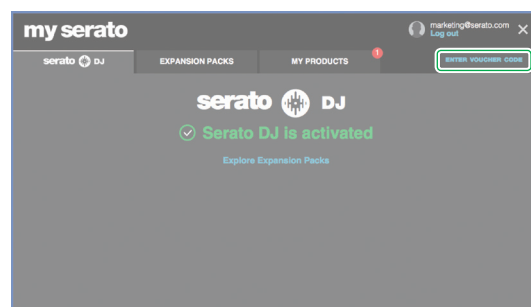
8. 「DVS EXPANSION」を選んで [BUY USD XX] をクリックします。

9. 画面の指示に従って、必要事項を入力します。

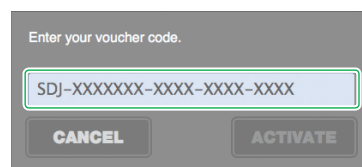
「Serato DVS Expansion Pack」のバウチャー・コードが送られてきます。
紛失しないように、大切に保管してください。

Serato DVS Expansion Pack をアクティベートする

1. my serato 画面右上の [ENTER VOUCHER CODE] をクリックします。
バウチャー・コード入力画面が表示されます。



2. バウチャー・コードを入力して、[ACTIVATE] をクリックします。



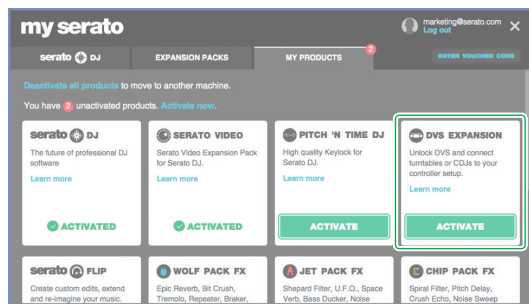
3. Serato DJ のメイン画面右上の [SETUP] をクリックして、SETUP 画面を表示させます。

4. [Expansion Packs] をクリックしてから [Vinyl/CDJ Control] を選択します。



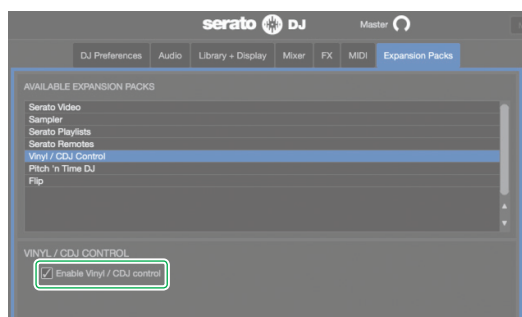
※「Vinyl/CDJ Control」が表示されないときは、my serato 画面で「MY PRODUCTS」タブをクリックし、「DVS EXPANSION」がアクティベートされているかを確認してください。

以下の画面が表示されていたときは、「ACTIVATE」をクリックしてください。

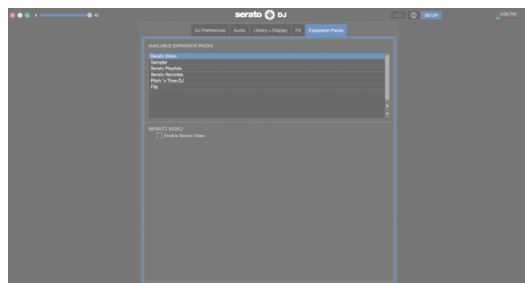


5.「Enable Vinyl/CDJ control」にチェック・マークが付いていることを確認します。

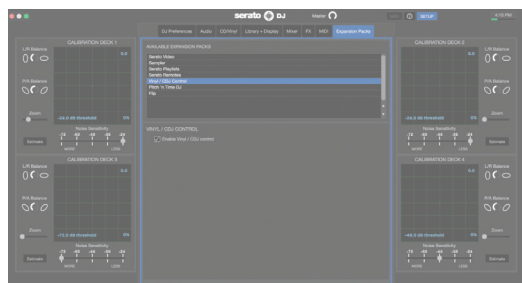
チェック・マークがない場合は、チェックを付けてください。



Serato DVS Expansion Pack がアクティベートされると、DJ-505 のサウンド・カード・モードが「DVS モード」に切り替わります。DJ-505 が「DVS モード」の間は、以下の状態になります。



切り替えが完了するまで（約 1 分）待ちます。切り替えが完了すると、以下の状態になります。

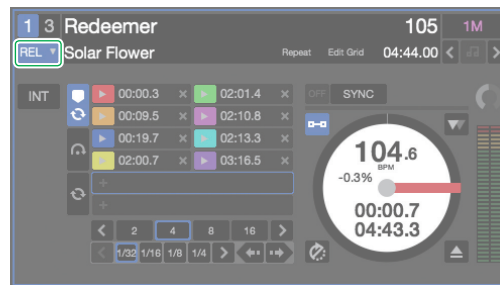


6. Serato DJ を終了します。

7. DJ-505 の電源をオフにして、1 分程度たってから再度電源をオンにします。

8. Serato DJ を再起動します。

VINYL コントロール・モード・ボタンの付いたバーチャル・デッキが表示されるまで待ちます。



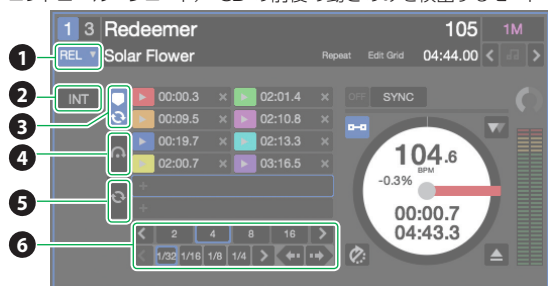
※ VINYL コントロール・モード・ボタンの付いたバーチャル・デッキが表示されるまで時間がかかる場合があります。

バーチャル・デッキ画面について

REL モードのとき

REL モード

コントロール・レコード／CD の前後の動きのみを検出するモードです。

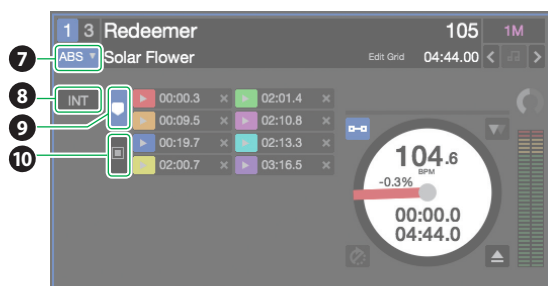


1	VINYL コントロール・モード・ボタン	REL モードと ABS モードを切り替えます。DJ プレーヤーのように、ホット・キューやループ再生ができます。
2	INT モード・ボタン	DVS を使わないときに、INT モードにします。
3	キュー・ポイント・タブ	ホット・キュー・ポイントとループ・スロットの一部が表示されます。
4	Flip タブ	Flip スロットが表示されます。
5	ループ・タブ	ループ・スロットが表示されます。
6	オート・ループ・デファインド・レングス	オート・ループ／キュー・ループの、ループの長さが表示されます。ループ・ロール時のパッドの位置とループの長さの関係が表示されます。

ABS モードのとき

ABS モード

コントロール・レコード／CD の CD の再生位置とトラックの再生位置がリンクするモードです。



7	VINYL コントロール・モード・ボタン	REL モードと ABS モードを切り替えます。
8	INT モード・ボタン	DVS を使わないときに、INT モードにします。
9	キュー・ポイント・タブ	ホット・キュー・ポイントが表示されます。※ ABS モードでは、ホット・キューの設定はできませんが、ホット・キューの呼び出しはできません。
10	アルバム・アート・タブ	アルバム・アートが表示されます。

DVS を使うための設定

ターンテーブル／DJ プレーヤーの接続

ご注意！

DVS 使用時は、ターンテーブルと DJ プレーヤーを組み合わせることはできません。必ず 2 台のターンテーブルか、2 台の DJ プレーヤーの組み合わせでお使いください。

1. DJ-505 の電源をオフにします。
2. 「リア・パネル（機器の接続）」を参考に、ターンテーブル／DJ プレーヤーを接続します。
※ ターンテーブルのアース線は、必ず DJ-505 の PHONO GROUND 端子に接続してください。
3. 接続したチャンネルに応じて、フロント・パネルの [CH 1] または [CH 2] スイッチを「PC」に切り替えます。

Serato DJ の設定

1. Serato DJ メイン画面右上にある [設定] をクリックして、SETUP 画面を表示させます。
2. [Audio] タブをクリックして、「TURNTABLES」または「CDJS」のどちらかを選択します。



TURNTABLES	PHONO (EQ アンプなしターンテーブル使用時)
CDJS	LINE (DJ プレーヤー、EQ アンプ付きターンテーブル使用時)

コントロール信号の調整

1. ターンテーブルまたは DJ プレーヤーを接続したチャンネルの [CH 1] または [CH 2] スイッチ（フロント・パネル）を「PC」に合わせます。
2. ターンテーブルに、コントロール・レコードを（DJ プレーヤーの場合は、コントロール CD を）セットします。

ご注意！

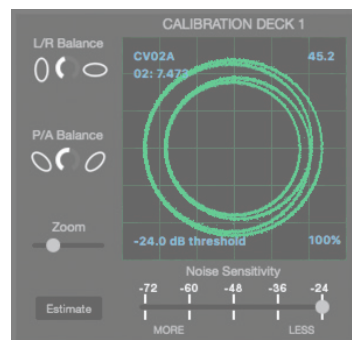
- コントロール・レコードは別売りです。お近くの Serato DJ 取扱店または下記 Serato オンライン・ストアから購入することができます。

<http://store.serato.com/us/vinyl/>

- コントロール CD は、Serato のホームページから無償でダウンロードできます。

<http://serato.com/controlcd/downloads>

3. コントロール・レコードまたは CD を再生します。
4. Serato DJ メイン画面右上にある [設定] をクリックして、SETUP 画面を表示させます。
キャリブレーション・デッキのスコープ上に緑の輪が表示されます。



※ キャリブレーション・デッキが表示されないときは、SETUP 画面の「EXPANSION PACKS」タブで、[Vinyl/CDJ Control] を選択してから「Enable Vinyl/CDJ control」にチェック・マークが付いていることを確認してください。

- ※ スコープ上に緑の輪が表示されない場合は、以下の項目を確認してください。
- ・ターンテーブル／DJ プレーヤーと DJ-505 が、正しく接続されている。
 - ・ターンテーブルのアース線が、DJ-505 の PHONO GROUND 端子に接続されている。

5. 緑の輪が真円に近くなるように調整します。

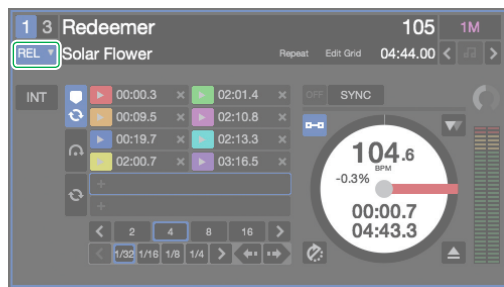
L/R Balance	垂直方向の歪みを補正します。
P/A Balance	水平方向の歪みを補正します。
Zoom	スコープ上の輪を拡大します。
Noise Sensitivity	コントロール信号が設定値より低いときはノイズとして処理されます。
Estimate	停止しているターンテーブルのレコードの上に針を置いた状態、または、DJ プレーヤーが一時停止／停止の状態でのボタンを押し続けると、「Noise Sensitivity」が移動します。

※ 詳しくは、Serato DJ の取扱説明書をご覧ください。

6. 手順 1 ～ 5 を繰り返して、すべてのターンテーブル／DJ プレーヤーのコントロール信号を調整します。

DVS で曲を再生する

1. バーチャルデッキ画面上の VINYL コントロール・モード・ボタンをクリックして、REL モードまたは ABS モードを選択します。



2. 「曲のインポート」(P.11) の手順で、曲をインポートします。

3. 「曲をロードする」(P.11) の手順で、曲をロードします。

4. ターンテーブルまたは DJ プレーヤーを操作して、コントロール・レコードまたは CD を再生します。

デッキにロードされた曲が再生されます。

5. チャンネル・フェーダーを上にもどかし、[TRIM] つまみを右に回して、音量を調整します。

チャンネル・レベル・インジケータの OVER が点灯しないように調整します。

6. [MASTER LEVEL] つまみを右に回して、スピーカーのレベルを調整します。

DVS 使用時に使える機能

DVS 使用時に使える機能は、以下のように制限されます。

機能	REL モード	ABS モード
パフォーマンス・パッド	ホット・キュー	(※1)
	ロール	✓
	スライサー	✓
	スライサー・ループ	✓
	サンプラー	✓
	ペロシティー・サンプラー	✓
	キュー・ループ	✓
	セーブド・ループ	✓
ループ	セーブド・フリップ	✓
	ループ	✓
	ループ・アクティブ	✓
	ループ・ハーフ/ダブル/シフト	✓
	ループ・イン	✓
	ループ・スロット・セレクト	✓
	4 ビート・ループ	✓
	ループ・アウト	✓
トランスボーズ	リループ	✓
	ループ・イグジット	✓
	プレイ/ポーズ/スッター	✓
	テンポラリー・キュー	✓
ジョグ・ダイヤル	シンク	✓
	スクラッチ	✓
	ピッチ・バンド	✓
テンポ・コントロール	スキップ	✓
	TEMPO スライダー	✓
	キー・ロック	✓
	テンポ・リセット	✓
フリップ	テンポ・レンジ	✓
	フリップ・レック	✓
	フリップ・ループ	✓
	フリップ・スタート	✓
	フリップ・オン/オフ	✓
その他	フリップ・スロット・セレクト	✓
	フリップ・セーブ	✓
	センサー	✓
	リバーブ・プレイ	✓
	録音	✓

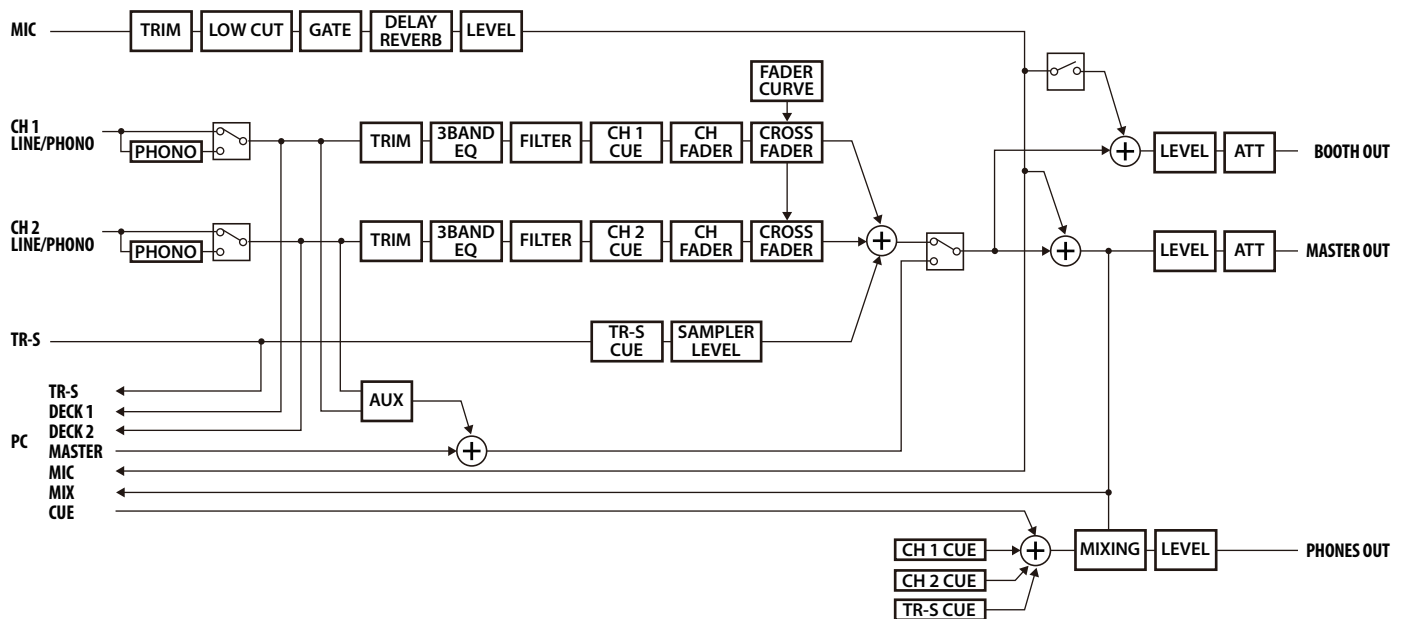
(※1) ホット・キューの設定のみ可能です。呼び出しはできません。

トラブルシューティング

思ったように動作しないときは、まず以下の点をチェックしてください。チェックしても原因がわからないときは、お客様相談センターまたはお買い上げ店にお問い合わせください。

トラブル	確認事項	対処	ページ
電源が入らない	AC アダプターが正しく接続されていますか？	AC アダプターがコンセントや本体に正しく接続されているか、AC アダプター本体と AC コード・セットが正しく接続されているかを確認してください。	P.10
Serato DJ が起動しない	Serato DJ が正しくインストールされていますか？	Serato DJ をアンインストールしてから、再度インストールしてください。	P.3
	Windows の場合、ユーザー・アカウントが正しく設定されていますか？	管理者権限で新しいユーザーアカウントを作成してください。アカウントを作成したら、USB ドライバーと Serato DJ をインストールしてください。	
DJ-505 が認識されない	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。	P.3
	USB ハブを使って接続していませんか？	USB ハブは使えません。パソコンと DJ-505 を直接 USB ケーブルで接続してください。	
	USB ドライバーが正しくインストールされていますか？	USB ドライバーをアンインストールしてから、再度インストールしてください。	
	Serato DJ が、最新のバージョンになっていますか？	最新バージョンの Serato DJ をお使いください。	
ジョグ・ダイヤルが反応しない	ジョグ・ダイヤルが汚れていませんか？	ジョグ・ダイヤルの天面が汚れていたり、手が汚れていたりすると反応しないことがあります。汚れを落としてください。	
音が出ない／音が小さい	音量を調整するつまみやフェーダーが、正しく設定されていますか？	[TRIM] つまみ、チャンネル・フェーダー、クロス・フェーダー、[TR/SAMPLER LEVEL] つまみを適切な位置に設定してください。	P.7
	[CH 1]、[CH 1] スイッチは正しく設定されていますか？	入カソースに合わせて、[CH 1]、[CH 2] スイッチを切り替えてください。	P.8
	パワード・スピーカーやアンプを、正しく接続していますか？	パワード・スピーカーやアンプの接続を確認してください。	P.9
	接続しているパワード・スピーカーやアンプは、正しく設定されていますか？	パワード・スピーカーやアンプの音量設定を確認してください。	
音がひずむ	[TRIM] つまみが正しく設定されていますか？	[TRIM] つまみを適切な位置に設定してください。	P.7
	[MASTER LEVEL] つまみが正しく設定されていますか？	MASTER レベル・インジケーターの赤の部分が点灯しないように、[MASTER LEVEL] つまみを設定してください。	
マイクの音が出ない	[MIC LEVEL] つまみが正しく設定されていますか？	フロント・パネルの [MIC LEVEL] つまみ、リア・パネルの [MIC SENS] つまみを適切な位置に設定してください。	P.8, P.9
ピッチ・プレイが操作できない	Pitch'n Time DJ をアクティベートしましたか？	ピッチ・プレイを操作するには、Pitch'n Time DJ をアクティベートする必要があります。付属の Serato DJ EXPANSION PACK VOUCHER カードに記載の手順に従って、パワード・コード（カードに記載）を入力し、Pitch'n Time DJ をアクティベートしてください。	
セーブド・フリップが操作できない	Serato Flip をアクティベートしましたか？	セーブド・フリップ・モードを使うには、別途 Serato Flip Expansion Pack を購入し、Serato Flip をアクティベートする必要があります。	P.24
DVS が操作できない	Serato DVS Expansion をアクティベートしましたか？	DVS 操作するには、別途 Serato DVS Expansion Pack を購入し、Serato DVS Expansion をアクティベートする必要があります。	P.27

ブロック・ダイアグラム



主な仕様

ローランド DJ-505 : DJ コントローラー

信号処理	サンプリング周波数 : 48kHz
規定入力レベル	INPUT (1、2) (RCA ピン・タイプ、LINE 入力モード) : -12dBu INPUT (1、2) (RCA ピン・タイプ、PHONO 入力モード) : -39dBu MIC IN (標準タイプ) : -60dBu
規定出力レベル	MASTER OUT 1 : +6dBu (バランス) MASTER OUT 2 : 0dBu BOOTH OUT : +6dBu (バランス)
入力インピーダンス	INPUT (1、2) (RCA ピン・タイプ) : 47k Ω以上 MIC IN (標準タイプ) : 7k Ω以上
出力インピーダンス	MASTER OUT 1 : 600 Ω (バランス) MASTER OUT 2 : 1k Ω (アンバランス) BOOTH OUT : 600 Ω (バランス) PHONES : 44 Ω
周波数特性	48.0kHz : 20Hz ~ 22kHz (+0 / -2dB)
接続端子	INPUT (1、2) 端子 : RCA ピン・タイプ MIC IN 端子 : 標準タイプ MASTER OUT 1 端子 : XLR タイプ (バランス) MASTER OUT 2 端子 : RCA ピン・タイプ BOOTH OUT 端子 : TRS 標準タイプ (バランス) PHONES 端子 : ステレオ標準タイプ、ステレオ・ミニ・タイプ PC 端子 : USB タイプ B MIDI OUT 端子 DC IN 端子 PHONO GROUND 端子
電源	AC アダプター
消費電流	2,000mA
外形寸法	530 (幅) × 402 (奥行) × 73 (高さ) mm
質量	3.5kg (AC アダプターを除く)
付属品	スタートアップ・ガイド 「安全上のご注意」チラシ AC アダプター 電源コード USB ケーブル 保証書 ローランド ユーザー登録カード Serato DJ TOOL KIT VOUCHER

※ 0dBu = 0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。